

2017国際ロボット展

INTERNATIONAL ROBOT EXHIBITION 2017

結果報告書



2017年

会期

11月29日 (水)

▶ 12月2日 (土) 10:00
17:00

会場

東京ビッグサイト
東1-6ホール

主催：一般社団法人 日本ロボット工業会
日刊工業新聞社



© UDAGAWA YASUHIRO 1998

関係者各位

謹 啓

ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

この度は「2017国際ロボット展」の開催にあたりまして、格別のご支援、ご協力を賜りましたこと、厚く御礼申し上げます。おかげ様をもちまして、2017年11月29日(水)～12月2日(土)の4日間の会期で、無事閉幕しましたことをここにご報告いたします。

今年は、過去最大規模であった前回2015年を更に大きく上回る612社・団体、2,775小間での開催となりました。これもひとえに、ご出展者各位、ご支援をいただいた関係官庁並びに産業諸団体、関係学会のご協力によるものと、主催者といたしまして深く感謝申し上げます。

なお、本展開催中の模様につきまして、日刊工業新聞紙上などで報道しましたが、ここにその結果をまとめてご報告いたします。

今後とも関係各位のご支援、ご協力のほどお願い申し上げます。

謹 白

2018年2月

一般社団法人 日本ロボット工業会
日刊工業新聞社

結果報告

■名 称

2017 国際ロボット展 [INTERNATIONAL ROBOT EXHIBITION 2017]

■テ ー マ

「ロボット革命がはじまった—そして人に優しい社会へ」

■開催趣旨

国内外における産業用・サービス用ロボットおよび関連機器を一堂に集めて展示し、利用技術の向上と市場の開拓に貢献し、ロボットの市場創出と産業技術の振興に寄与する。

■会期・会場

2017年(平成29年) 11月29日(水)～12月2日(土) 10:00～17:00

東京ビッグサイト 東1、2、3、4、5、6ホール

東8ホール(12月2日のみ)

■主 催

一般社団法人 日本ロボット工業会、日刊工業新聞社

■後 援

経済産業省、厚生労働省、農林水産省、国土交通省、総務省、文部科学省、日本商工会議所、
新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)、日本貿易振興機構(JETRO)、日本放送協会(NHK)

[法人格略・順不同]

■協 賛

計測自動制御学会、情報通信ネットワーク産業協会、製造科学技術センター、全日本プラスチック製品工業連合会、テクノエイド協会、日本アミューズメントマシン協会、日本機械工業連合会、日本金属プレス工業協会、日本クリーン環境推進機構、日本建設機械工業会、日本建設機械施工協会、日本工作機械工業会、日本産業機械工業会、日本自動車工業会、日本自動車部品工業会、日本食品機械工業会、日本鍛圧機械工業会、日本鉄鋼協会、日本電気計測器工業会、日本電機工業会、日本電気制御機器工業会、日本塗装工業会、日本半導体製造装置協会、日本福祉用具供給協会、日本福祉用具・生活支援用具協会、日本物流システム機器協会、日本フルードパワー工業会、日本ベルト工業会、日本防錆技術協会、日本包装機械工業会、日本溶接協会、日本ロボット学会、マイクロマシンセンター、ロボット革命イニシアティブ協議会

[法人格略・順不同]

■入場料

1,000円 ※事前登録者および招待券持参者、中学生以下は無料

■開催規模

出展者数	612社・団体	(446社・団体)
出展小間数	2,775小間	(1,882小間)

(前回2015年実績)

●うち海外出展者数 14カ国 88社・団体 252小間

■来場者数

※出展者、報道関係者、中学生以下は含まず

日付	天候	来場者数 (前回2015年実績)
11月29日(水)	☀	29,613名 (26,283名)
11月30日(木)	☁	34,531名 (32,062名)
12月1日(金)	☀	41,035名 (39,634名)
12月2日(土)	☀	25,301名 (23,443名)
合計		130,480名 (121,422名)

●うち海外来場者数 82カ国 9,841名

■同時開催展

2017部品供給装置展 (主催：日本部品供給装置工業会、日刊工業新聞社)

2017洗浄総合展 (主催：日本洗浄技能開発協会、日本産業洗浄協議会、日刊工業新聞社)

SAMPE JAPAN 先端材料技術展 2017 (主催：先端材料技術協会、日刊工業新聞社)

モノづくりマッチングJAPAN 2017 (主催：日刊工業新聞社)

■同日開催展との相互入場 (西ホール)

システムコントロールフェア2017 (主催：日本電機工業会、日本電気制御機器工業会)

計測展TOKYO2017 (主催：日本電気計測器工業会)

■特別企画

主催企画テーマ展示

R T交流プラザ

第7回ロボット大賞 合同展示

体験企画「つくる☆さわれる国際ロボット展」(12月2日のみ開催、東8ホール)

■ 合同開会式・テープカット

日時：2017年11月29日(水) 9:30～10:00

会場：東京ビッグサイト 東5ホール前

参加者：約200名



テープカット

〈挨拶・祝辞〉

来賓祝辞	経済産業副大臣	西銘 恒三郎 氏
主催者挨拶	日本ロボット工業会 会長	稲葉 善治 氏
主催者挨拶	日刊工業新聞社 代表取締役社長	井水 治博

テープカット出席者：

来賓	経済産業副大臣	西銘 恒三郎 氏
主催	日本ロボット工業会 会長	稲葉 善治 氏
主催	国際ロボット展 運営委員長	橋本 康彦 氏
主催	日本部品供給装置工業会 会長	辻田 定夫 氏
主催	日本洗浄技能開発協会 理事長	飯島 文男 氏
主催	日本産業洗浄協議会 会長	岡村 和彦 氏
主催	SAMPE JAPAN 先端材料技術展 展示副委員長	堀 勉 氏
協賛	次世代3D積層造形技術総合開発機構 理事長	前川 篤 氏
主催	日刊工業新聞社 代表取締役社長	井水 治博



祝辞 西銘 恒三郎 氏



主催者挨拶 稲葉 善治 氏



主催者挨拶 井水 治博



■ 合同開会レセプション

日 時：2017年11月29日(水) 17:30～19:00

会 場：東京ビッグサイト 会議棟1F レセプションホールA

参加者：約600名

主催者挨拶：国際ロボット展 運営委員長

来賓挨拶：経済産業省 製造産業局長

鏡 開 き：経済産業省 製造産業局長

日本ロボット工業会 会長

国際ロボット展 運営委員長

日本産業洗浄協議会 会長

SAMPE JAPAN 先端材料技術展 展示副委員長

次世代3D積層造形技術総合開発機構 専務理事

日刊工業新聞社 代表取締役社長

挨拶・乾杯：日本産業洗浄協議会 会長

中 締 め：SAMPE JAPAN 先端材料技術展 展示副委員長

橋本 康彦 氏

多田 明弘 氏

多田 明弘 氏

稲葉 善治 氏

橋本 康彦 氏

岡村 和彦 氏

堀 勉 氏

君島 孝尚 氏

井水 治博

岡村 和彦 氏

堀 勉 氏



鏡開き



来賓挨拶 多田 明弘 氏



主催者挨拶 橋本 康彦 氏



会場風景



琴の演奏

International Reception

日 時：2017年11月30日(木) 17:30～19:00

会 場：東京ビッグサイト 会議棟1F レセプションホールA

参加者：約500名

主催者挨拶：国際ロボット展 運営委員長

橋本 康彦 氏

来賓挨拶：経済産業省 産業機械課 ロボット政策室長

安田 篤 氏

乾 杯：日本ロボット工業会 専務理事

富士原 寛 氏



来賓挨拶 安田 篤 氏



主催者挨拶 橋本 康彦 氏



乾杯挨拶 富士原 寛 氏



海外視察ツアー

海外VIPおよび在日大使館、各国関連団体の視察ツアーが連日実施された。

※4日間で海外来場者は9,841名となり、前回の海外来場者数を大きく上回った

- 国際連合工業開発機関（UNIDO）（駐日大使をはじめ、大使館関係者が45名来場）
- ハンガリー大使館（ハンガリー外務貿易省 レヴェンテ・マグヤール副大臣来場）
- オーストリア企業団
- ルクセンブルク商工会議所
- 中国国際貿易促進委員会（CCPIT）
- 中国ロボット業界代表団 その他



併催事業

iREXロボットフォーラム2017

『働く現場を変える！ロボットとともに』

日時 11月29日(水) 15:00~17:00

会場 東京ビッグサイト
会議棟7F 国際会議場

参加者 約1,000名

日英同時通訳あり

主催：日本ロボット工業会、日刊工業新聞社

パネルディスカッション

●ロボットメーカー：

川崎重工業 常務執行役員 ロボットビジネスセンター長

橋本 康彦 氏

ファナック 取締役専務執行役員 ロボット事業本部長

稲葉 清典 氏

不二越 フェロー

国崎 晃 氏

安川電機 執行役員 ロボット事業部長

小川 昌寛 氏

ABBグループ シニアバイスプレジデント ロボティクス事業責任者

パーベガード・ニース 氏

KUKA Roboter 最高経営責任者 (CEO)

ステファン・ランバ 氏

●ユーザー企業：

トヨタ自動車 生産技術本部 工程改善部 部長

大倉 守彦 氏

ホームロジスティクス 代表取締役社長

松浦 学 氏

●コーディネーター：

ジャーナリスト

三神 万里子 氏

《内容》

「働く現場を変える！ロボットとともに」のテーマのもと、国内外のロボット主要メーカー6社、そして製造業、サービス業でロボットの活用を実践するユーザー2社が一堂に会した。ロボットの導入による現場の改善からグローバル化する市場における課題など、開発と用途の双方向による活発な議論がなされた。

●ロボットメーカー



橋本 康彦 氏



稲葉 清典 氏



国崎 晃 氏

●ユーザー企業



大倉 守彦 氏



松浦 学 氏

●コーディネーター



小川 昌寛 氏



パーベガード・ニース 氏



ステファン・ランバ 氏



三神 万里子 氏

NEDO ロボット・AIフォーラム 2017

日時 11月29日(水) 10:30~17:15
日英同時通訳あり

会場 東京ビッグサイト
メインステージ(東6ホール内)

参加者 約700名

主催: 新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)

[時間] 10:30~12:25

Robots & AI for Happiness 第一部

開会挨拶

NEDO 理事長

古川 一夫 氏

来賓挨拶

経済産業省 製造産業局 審議官

上田 洋二 氏

オープニングセッション

「宇宙・ロボット・人をつなぐ」

宇宙飛行士

山崎 直子 氏

「NEDOのロボット・AI分野への取り組み」

NEDO ロボット・AI部長

弓取 修二 氏

ロボットセッション

「ソフトバンクのロボット事業 次なる戦略」

ソフトバンクロボティクス コンテンツマーケティング本部 取締役兼CCRO

コンテンツマーケティング本部長

蓮実 一隆 氏

「人と関わるロボットと未来社会」

大阪大学 基礎工学研究科システム創成専攻 名誉教授

石黒 浩 氏

「MUJINコントローラが切り開く最新ロボットアプリケーション」

MUJIN CEO 兼 共同創業者

滝野 一征 氏



古川 一夫 氏



上田 洋二 氏



山崎 直子 氏



弓取 修二 氏



蓮実 一隆 氏



石黒 浩 氏



滝野 一征 氏

[時間] 13:15~17:15

Robots & AI for Happiness 第二部

「日本発の空飛ぶクルマSkyDriveの開発」

カーティベーター 代表

中村 翼 氏

「ロボット活用型市場化技術開発プロジェクト」

産業技術総合研究所 研究チーム長

安藤 慶昭 氏

AIセッション

「我が国の人工知能技術開発について」

NEDO ロボット・AI部 統括研究員／

「次世代人工知能・ロボット中核技術開発」プロジェクトマネージャー (PM)

関根 久 氏

「より豊かな社会を築くマイクロソフトのAIテクノロジー」

日本マイクロソフト 執行役員 最高技術責任者

榊原 彰 氏

「ビジネスのためのAI基盤 IBM Watson」

日本アイ・ビー・エム ワatson・ソリューション担当 理事

元木 剛 氏

「実世界に埋め込まれる人工知能：次世代のロボットに向けて」

産業技術総合研究所 フェロー、人工知能研究センター センター長

辻井 潤一 氏

「社会インフラにおけるAIとロボット」

日立製作所 技師長

武田 晴夫 氏

社会実装セッション

「SIP自動走行／大規模実証実験」

NEDO ロボット・AI部 統括研究員／「戦略的イノベーション創造プログラム (SIP) / 自動走行システムの大規模実証実験」プロジェクトマネージャー (PM)

林 成和 氏

「社会による新技術の受容」

福田・近藤法律事務所 弁護士

近藤 惠嗣 氏

「World Robot Summitに対するNEDOの取り組み」

NEDO ロボット・AI部 主査

和佐田 健二 氏

「学びの中でのロボティクスとAIの行方」

ブルームフィールド大学 准教授

江口 愛美 氏

〈内容〉

第一線で活躍するキーパーソンが、ロボット・AIの研究開発やビジネスの最新動向等を紹介した。



RRI国際シンポジウム

日時 11月30日(木) 10:30~17:00
日英同時通訳あり

会場 東京ビッグサイト
会議棟7F 国際会議場

参加者 約1,000名

主催：経済産業省、ロボット革命イニシアティブ協議会

[時間] 10:00~12:00

RRI国際シンポジウム 第一部

Connected Industries 国際シンポジウム

開会挨拶

経済産業副大臣

西銘 恒三郎 氏

基調講演 「第四次産業革命とSociety 5.0」

世界経済フォーラム 執行委員

David Aikman 氏

講演1 「コネクティッドインダストリーズに向けたRRIの活動と官民連携」

ロボット革命イニシアティブ協議会 会長

大宮 英明 氏

講演2

「ドイツ『Industrie 4.0には、皆様のご協力が必要です。』」

Federal Ministry for Economic Affairs and Energy 次長 Markus Heß 氏

講演3

「中国『中国製造2025』と産業インターネット」

中国情報通信研究院 副技師長

Li Haihua 氏

講演4

「米国『IIC：製造業ビッグデータ解析によるIIoT革命最前線』」

Industrial Internet Consortium

産業分析TG・技術WG・連携WG議長/SCメンバー

Wael William Diab 氏



西銘 恒三郎 氏



David Aikman 氏



大宮 英明 氏



Markus Heß 氏



Li Haihua 氏



Wael William Diab 氏



Mirko Bordignon 氏

[時間] 13:00~17:00

RRI国際シンポジウム 第二部

RRI インダストリアルIoT国際シンポジウム ~Connected Industries~

IIC - RRI 連携調印発表

IIC : Wael William Diab氏

RRI : ロボット革命イニシアティブ協議会 事務局長 久保 智彰 氏

基調講演

『ARENA 2036:共同研究／革新の新世界』

Group Manager - Software Engineering and System Integration,
Robots and Assistive Systems Department,
Fraunhofer IPA

Mirko Bordigno 氏



調印発表

セッション1：講演 『製造業のこれからの姿』

『産とボトムアップで進むチェコの学と新国立I4.0センター』

National Center for Industry 4.0 Director

Roman Holý 氏

『コネクテッドインダストリーズへのより速い移行 ―スウェーデンのやり方―』

Swedish Ministry of Enterprise and Innovation Deputy Director

Johan Harvard 氏

『日本/RRIの見解』

ロボット革命イニシアティブ協議会 ユースケース・タスクフォース長/
アズビル

石隈 徹 氏

セッション1：パネルディスカッション

□モデレータ

ロボット革命イニシアティブ協議会 情報マーケティングチーム長/
野村総合研究所

藤野 直明 氏

□パネリスト

Mirko Bordignon 氏、Roman Holý 氏、Johan Harvard 氏、Wael William Diab 氏、
Li Haihua 氏、石隈 徹 氏

セッション2：講演 『『製造業のこれからの姿』から整理する国際標準』

『openAAS (open Asset 管理シェル) の実応用』

Siemens AG Corporate Technology

Ulrich Löwen 氏

『日独標準化専門家が描く『機能レベルユースケース』』

ロボット革命イニシアティブ協議会 ユースケース・タスクフォース長/
アズビル

石隈 徹 氏

『スマートマニュファクチャリングに関する国際標準を整理し システム構築をガイドする日本発の手法:URM-MM』

ロボット革命イニシアティブ協議会 国際標準化アクショングループ委員 /
日立製作所

野中 洋一 氏

セッション2：パネルディスカッション

□モデレータ

ロボット革命イニシアティブ協議会 国際標準化アクショングループ主査/
東京大学 名誉教授 木村 文彦 氏

□パネリスト

Ulrich Löwen 氏、石隈 徹 氏、野中 洋一 氏

セッション3：講演 『「製造業のこれからの姿」と産業セキュリティ』 「Industry4.0 セキュリティのトレンド、課題、そしてこれから」

Siemens Head of Research Group,
Security for Embedded Systems, Industry4.0, IoT Wolfgang Klasen 氏

「産業セキュリティー EU最新情報」

Fujitsu Technology Solutions GmbH Director,
Fujitsu Distinguished Engineer Thomas Walloschke 氏

「産業セキュリティーへの要件-企業/ 国を超えた製造業のこれからの姿に向けて」

ロボット革命イニシアティブ協議会 産業セキュリティアクショングループ委員/
三菱電機 米田 健 氏

セッション3：パネルディスカッション

□モデレータ

ロボット革命イニシアティブ協議会 産業セキュリティアクショングループ主査/
横浜国立大学 教授 松本 勉 氏

□パネリスト

Wolfgang Klasen 氏、Thomas Walloschke 氏
VDMA, Head of Industrial Security Steffen Zimmermann 氏
ZVEI, Manager Security, Safety/Security Division Lukas Linke 氏、米田 健 氏

《内容》

経済産業省とロボット革命イニシアティブ協議会は、第4次産業革命に向けた国策「コネクテッド・インダストリーズ(CI)」をテーマにシンポジウムを開催した。ドイツ、中国、米国からも講演者を招き、製造業向けIoTに関する国際連携をアピールした。



The Rise of Service Robots

“サービスロボットの発展と未来“

日時 11月30日(木) 11:00~11:45 会場 東京ビッグサイト
メインステージ(東6ホール内) 参加者 約500名

主催：日本ロボット工業会、日刊工業新聞社

Savioke社 創業者/CEO

スティーブ・カズンズ 氏

《内容》

自律型ロボットの開発において業界トップリーダーであるスティーブ・カズンズ氏（サヴィオーク社創業者兼CEO）が、ヒトの生活をより豊かにし、幸せにするサービスロボットの未来について、ロボットのデモンストレーションも交え、講演を行った。



スティーブ・カズンズ 氏



国際ロボット導入フォーラム ～デンマークにおけるロボット開発と最新動向～

日時 11月30日(木) 13:00~15:00 会場 東京ビッグサイト
メインステージ(東6ホール内) 参加者 約500名

主催：日本ロボット工業会、日刊工業新聞社

講演①

「デジタルデンマークが導く = サービスロボットプラットフォームの可能性 =」

デンマーク大使館 投資部 部門長

中島 健祐 氏

講演②

「インダストリー4.0における人とロボットの協働」

ユニバーサルロボット チーフテクニカルオフィサー

エスベン・ハルンベック・ウスタゴー 氏

講演③

「生活支援・介護支援ロボットに関する日本企業・研究機関と海外との連携」

産業技術総合研究所 ロボットイノベーション研究センター

サービスロボティクス研究チーム

松本 吉央 氏

《内容》

「デンマークにおけるロボット開発と最新動向」について、デンマークのオーデンセ地方における協働ロボットの開発・発展、インダストリー4.0、また生活支援・介護支援ロボットにおける日本と海外の連携等をテーマに講演を行った。



中島 健祐 氏



エスベン・ハルンベック・ウスタゴー 氏



松本 吉央 氏

ビジネス目線のロボット利活用を進める社会 ～Robotics for Happiness (by WRS)～

日時 11月30日(木) 15:30～16:45
日英同時通訳あり

会場 東京ビッグサイト
メインステージ(東6ホール内)

参加者 約500名

主催：日本ロボット工業会、日刊工業新聞社

「ロボット産業の構造転換」

NTTデータ経営研究所 パートナー

三治 信一郎 氏

「人手確保の困難性とロボットへの期待」

リクルートジョブズ 執行役員

仲川 薫 氏

「現場発ロボット導入ソリューション」

オフィスエフエイ・コム General Manager

青木 伸輔 氏

「新しいロボットビジネス」

ライフロボティクス 代表取締役 CEO&CTO

尹 祐根 氏

「ロボット活用人材の育成」

ミツイワ スマートファクトリー推進部 部長

泉 貴史 氏

《内容》

ロボットユーザーに利用を促すための、ロボット活用人材といわれるシステムインテグレータとメーカーとの新しい関係・モデルについて、様々な業界のトップリーダーによる講演を行った。



三治 信一郎 氏



仲川 薫 氏



青木 伸輔 氏



尹 祐根 氏



泉 貴史 氏



ユニバーサル未来社会推進フォーラム (第7回ユニバーサル未来社会推進協議会)

日時 12月1日(金) 10:30~12:00
日英同時通訳あり

会場 東京ビッグサイト
メインステージ(東6ホール内)

参加者 約500名

主催:ユニバーサル未来社会推進協議会

□登壇者

ユニバーサル未来社会推進協議会 会長/文部科学大臣 補佐官/東京大学 教授/
慶應義塾大学 教授 鈴木 寛 氏

日本障害者スキー連盟 理事/日本パラリンピアンズ協会 (PAJ) 副会長/
電通パブリックリレーションズ 大日方 邦子 氏

理化学研究所 革新知能統合研究センター センター長/
東京大学大学院 新領域創成科学研究科複雑理工学専攻 教授 杉山 将 氏

慶應義塾大学 SFC研究所 所長 / 環境情報学部 教授 田中 浩也 氏

アスリートソサエティ 代表理事 / 元陸上競技選手 為末 大 氏

千葉工業大学 理事/未来ロボット技術研究センター 所長 古田 貴之 氏

ヤフー 副社長執行役員 最高執行責任者 (COO)
コマースグループ長 川邊 健太郎 氏

東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会
イノベーション推進室 室長/テクノロジーサービス局 次長 平田 英世 氏

武蔵野大学 学長 西本 照真 氏

《内容》

東京2020大会会場周辺地域等における先端ロボット技術のショーケース化を目的として設置された協議会を開催し、全ての人々が、ストレスフリーな生活の実現に必要な幅広いサービスを楽しむユニバーサル未来社会の実現について、様々な観点から議論を交わした。



鈴木 寛 氏



大日方 邦子 氏



杉山 将 氏



田中 浩也 氏



為末 大 氏



古田 貴之 氏



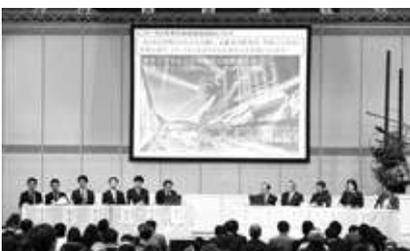
川邊 健太郎 氏



平田 英世 氏



西本 照真 氏



人とロボットがつながる社会へ～ライブ・ドリアド2017

日時 12月1日(金) 13:30~18:00
日英同時通訳あり

会場 東京ビッグサイト
メインステージ(東6ホール内)

参加者 約500名

主催：創造再生研究所 共催：日本ロボット工業会、日刊工業新聞社

[時間] 13:30~15:00

第一部 ロボットが日本の農業を救う(?) 農業・食品産業分野におけるロボット活用の可能性

司会：2017ミス日本みどりの女神

野中 葵 さん



司会：野中 葵 さん

講演

東京大学大学院 工学系研究科 特任准教授

松尾 豊 氏

パネルディスカッション

□パネリスト

東京大学大学院 工学系研究科 特任准教授

松尾 豊 氏

エムスクエアラボ 代表取締役

加藤 百合子 氏

農林水産省 農林水産技術会議事務局長

別所 智博 氏

□モデレーター

日本総合研究所 創発戦略センター

三輪 泰史 氏

シニアスペシャリスト



松尾 豊 氏



加藤 百合子 氏



別所 智博 氏



三輪 泰史 氏

[時間] 15:15~17:00

第二部

講演

「ロボットベンチャーが創る未来」

自律制御システム研究所 取締役

鷺谷 聡之 氏

SEQSENSE CTO

黒田 洋司 氏

GROOVE X 代表取締役

林 要 氏



鷺谷 聡之 氏



黒田 洋司 氏



林 要 氏

パネルディスカッション

「ロボット、AI、テレグジスタンスが創る社会」

□パネリスト

ヤフー チーフストラテジーオフィサー

安宅 和人 氏

東京大学 名誉教授

舘 暉 氏

女優 NHK「サイエンスZERO」ナビゲーター

南沢 奈央 さん

□モデレーター

経済産業省 産業技術環境局長

末松 広行 氏

《内容》

農業・食品産業分野におけるロボット活用の可能性について、ロボット・AI、VR等、各分野の第一人者を招いてフォーラムを開催した。



安宅 和人 氏



舘 暉 氏



南沢 奈央 さん



末松 広行 氏



[時間] 17:00～18:00

ドリア・アイデアによる歌・弦楽含む音楽演奏



AI・音声認識フォーラム

音声認識を使ったサービスのこれから

日時 12月2日(土) 15:00~16:30

会場 東京ビッグサイト
メインステージ(東6ホール内)

参加者 約500名

主催：モノづくり日本会議、日刊工業新聞社

基調講演 15:00~15:40

「音声認識の主たる用途と技術トレンド」

京都大学 教授

河原 達也 氏

パネルディスカッション 15:40~16:30

「AI・音声認識を使ったサービスが今できることと、その近未来」

□パネリスト

京都大学 教授

河原 達也 氏

サインウェブ 代表取締役社長

赤池 雅光 氏

澁標アナリティクス 代表取締役社長

井原 渉 氏

□モデレーター

日刊工業新聞社 編集局第一産業部・記者

石橋 弘彰

《内容》

本セッションでは、音声認識技術の第一人者である京都大学の河原教授に同分野の技術トレンドをお話いただき、後半のパネルディスカッションでは、過去の研究プロジェクトや新進気鋭のベンチャー企業によるAIや音声認識技術を活用したサービスの最新動向を紹介した。併せて、長時間会話した音声データを文字にする議事録づくりのような仕事への応用や、新聞記者のような記事作成システムの実現可能性について議論を行った。



河原 達也 氏



赤池 雅光 氏



井原 渉 氏



石橋 弘彰

出展者ワークショップ

日時 11月29日(水)～12月2日(土) 会場 東京ビッグサイト 東ホール入口ワークショップ会場A・B

11月29日(水)

	時間	タイトル	社名
ワークショップ 会場A	11:30～12:10	『Bot3が提供するVSLAMによる低価格な自己位置推定技術』	Bot3
	13:30～14:10	『ロボティクスアプリケーションOCTOPUZの最新バージョン1.7のご紹介』	ジェービーエム
	14:30～15:10	『超小型サーボモータドライバの、ロボットへの組込みと制御』	NPMハイテクノロジーズ
ワークショップ 会場B	12:30～13:10	『ABCコアで実現するソフトロボティクス』	慶應義塾大学ハプティクス研究センター
	13:30～14:10	『自律移動型案内ロボットの開発と安全認証への挑戦』	東京都立産業技術研究センター
	14:30～16:10	『ドイツでのビジネス展開 ～ロボティクスとオートメーション分野で広がるビジネスチャンス～』	ドイツ貿易・投資振興機関 (GTAI)

11月30日(木)

	時間	タイトル	社名
ワークショップ 会場A	10:30～11:10	『NVIDIA AI Factory』	エヌビディア
	11:30～12:10	『ファナックロボットの最新技術』	ファナック
	12:30～13:10	『人型外観検査ロボット「外観けんた君」』	デクシス
	13:30～14:10	『産業用ロボットのノイズ解析と実践的な対策手法』	北川工業
	14:30～15:10	『人協働ロボットと超小型ロボットの適用事例紹介』	安川電機
ワークショップ 会場B	11:30～12:10	『隔離と停止の原則—国際安全規格に適合した防護柵と制御安全』	SATECH
	12:30～13:10	『リアルハプティクスによるロボット革命』	慶應義塾大学 理工学部
	13:30～14:10	『オムロンが考えるロボット活用によるモノづくり革新』	オムロン
	14:30～15:10	『革新的3軸振動パーツフィーダ。複雑・敏感な小型ワークにも最適』	アジリル

12月1日(金)

	時間	タイトル	社名
ワークショップ 会場A	10:30～11:10	『次世代サーボモータ「ユニサーボ」の革新的な仕組みと応用例』	ロボテック
	11:30～12:10	『ロボットの性能向上に貢献する機械要素部品』	THK
	12:30～13:10	『ものづくりにおけるIoT時代の産業用ロボットについて』	不二越
	13:30～14:10	『e-F@ctoryとAI・知能化ロボットが実現するスマートファクトリー』	三菱電機
	14:30～15:10	『人とロボットの共生を実現するロボティクスサポートサービス』	日立システムズ
ワークショップ 会場B	10:30～11:10	『不定形ワークのピッキングにおける3次元カメラとビジョンシステムのご提案』	オブテックス・エフイー
	11:30～12:10	『シュマルツのIoT対応製品の実例と今後の可能性について』	シュマルツ
	12:30～13:10	『目と脳を持った知能ピッキングロボットの垂直統合』	三次元メディア
	13:30～14:10	『Qiから1kWまで！！ワイヤレス給電ソリューションのご紹介』	ビー・アンド・プラス
	14:30～15:10	『工場の自動化に貢献するロボット開発への取り組み』	ダイヘン

12月2日(土)

	時間	タイトル	社名
ワークショップ 会場B	13:00～13:40	『遠隔技術による廃止措置のための支援施設と支援技術開発—JAEA櫛葉遠隔技術開発センターの取り組み—』	日本原子力研究開発機構



各種セミナー

日時 11月29日(水)

RTM講習会

時間 10:00～16:30 会場 ワークショップ会場C (東6ホール入口) 参加者 実習 30名、聴講 30名

主催：産業技術総合研究所 共催：日本ロボット工業会・ロボットビジネス推進協議会 RTミドルウェアWG

日時 11月30日(木)

日中韓ロボット研究者ワークショップ

時間 10:00～17:00 会場 会議棟6F 607・608会議室 参加者 約200名

主催：日中産学官交流機構、国家"863"計画先進製造領域知能ロボット専門家グループ、韓国ロボット産業協会

ロボット産業における電気技術者の役割と今後の展望とは

時間 14:00～15:30 会場 会議棟6F 605会議室 参加者 約100名

主催：電気技術者試験センター

ロボット導入で活用できる補助金獲得セミナー

時間 14:00～15:00 会場 会議棟6F 610会議室 参加者 約70名

主催：日刊工業新聞社

中国ロボット産業動向と知能製造工業園区の紹介

時間 14:00～15:20 会場 会議棟6F 606会議室 参加者 約100名

主催：中国ロボット産業連盟 共催：中国浙江省海塩県、日刊工業新聞社

ディープラーニングによるロボットの今後の展開

時間 10:30～11:30 会場 ワークショップ会場C (東6ホール入口) 参加者 約100名

主催：日刊工業新聞社

ロボットエンジニアリングセミナー

時間 14:00～17:00 会場 ワークショップ会場C (東6ホール入口) 参加者 約100名

主催：日本ロボット工業会

日時 12月1日(金)

AMEDロボット介護機器開発・導入促進事業成果報告会

時間 10:00～17:00 会場 会議棟6F 607・608会議室 参加者 約200名

主催：日本医療研究開発機構 (AMED) / 経済産業省

制御システム関係者が考えるべきサイバー脅威 ～その動向と対策～

時間 10:30～11:15 会場 ワークショップ会場C (東6ホール入口) 参加者 約100名

主催：JPCERTコーディネーションセンター

スマートものづくり支援機関全国連絡会議 ～中小企業へのConnected Industriesの推進に向けて～

時間 13:30～15:40 会場 ワークショップ会場C (東6ホール入口) 参加者 約100名

主催：経済産業省 共催：ロボット革命イニシアティブ協議会 中堅中小AG

大人のロボット塾

時間 15:45~17:30

会場 ワークショップ会場B (東2ホール入口)

参加者 約30名

主催：インターグループ

日時 12月2日(土)

ロボットシミュレータChoreonoid講習会

時間 10:00~17:00

会場 ワークショップ会場C (東6ホール入口)

参加者 約40名

主催：産業技術総合研究所

日時 12月2日(土)・3日(日)

国際ロボットハイスクール

時間 2日(土) 9:00~17:00、3日(日) 9:00~15:00

参加者 約120名

会場 東京ビッグサイト、会議棟及び国際ロボット展会場内

主催：ロボット学会 共催：日本ロボット工業会、日刊工業新聞社

有料セミナー

日時 11月29日(水)

『再び！ヒューマノイド先進国へ！ヒューマノイド・ロボットの研究動向と将来展望』

時間 14:00~17:00

会場 会議棟7F 703会議室

主催 日刊工業新聞社

参加者 約90名

日時 11月30日(木)

『ロボット×IoT×AIで達成するダイナミックセル生産』

時間 14:00~17:00

会場 会議棟7F 703会議室

主催 日刊工業新聞社

参加者 約90名

日時 12月1日(金)

『協働ロボットシステムの安全確保とコラボレーティブオペレーションの最新動向』

時間 13:30~17:00

会場 会議棟7F 703会議室

主催 日刊工業新聞社

参加者 約90名

日時 12月2日(土)

『ディープラーニングを使った画像処理入門—中級編』

時間 13:00~17:00

会場 会議棟6F 607会議室

主催 日刊工業新聞社

参加者 約50名

『ロボット×AIoTで達成するサービス・イノベーション』

時間 14:00~17:00

会場 会議棟6F 608会議室

主催 日刊工業新聞社

参加者 約80名



特別企画

テーマ展示「ロボット革命がはじまった—そして人に優しい社会へ」

主催：日本ロボット工業会、日刊工業新聞社

開催場所：東5ホール

人に優しい社会の実現を目指し、ロボットメーカーが人とロボットが協働する近い将来を見据えた未来の社会をイメージした展示・実演を行った。



RT交流プラザ

主催：日本ロボット工業会 共催：日刊工業新聞社

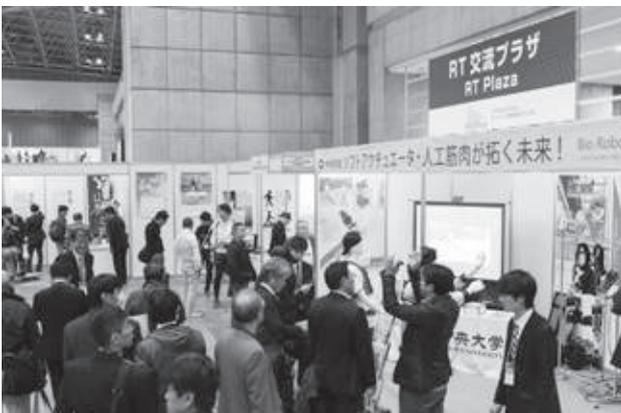
出展規模：46大学・機関 46小間（前回15年 32大学・機関 41小間）

開催場所：東6ホール



本事業は、オートレースの補助を受けて実施しています。

RTに関する事業の創出を目的に、大学の研究開発やロボット技術を紹介するゾーン。介護・福祉や農業、災害対応などに関するロボットの展示や実演を行った。



「第7回ロボット大賞」 合同展示コーナー

主催：経済産業省、日本機械工業連合会

開催場所：東5ホール

「第7回ロボット大賞」を受賞した企業による合同展示、コミュニケーションロボットや、農業ロボット等、幅広い分野のロボット・関連技術を展示した。



本事業は、競輪の補助により実施しています。



「つくる☆さわれる国際ロボット展」

協力：Shovel Head、インターグループ、マイクロスター、松山工業 他

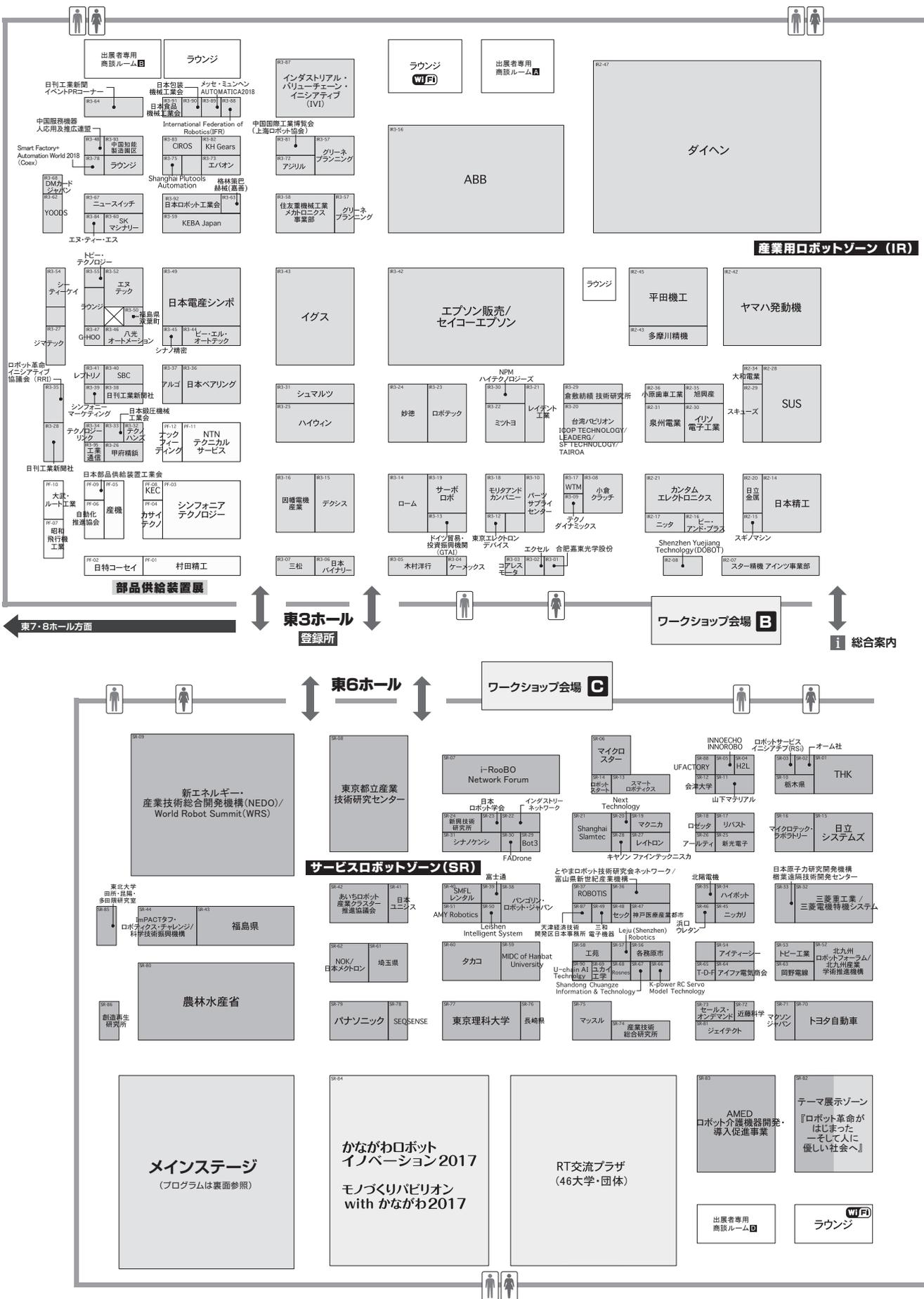
開催日時：12月2日(土)

開催場所：東8ホール

最終日限定の体験企画。子供向け企画として宇田川誉仁氏(ロボット展メインキャラクター作者)による体験ワークショップを始め、「スペースロボットコンテスト」、「プログラミング教育セミナー」や「水中ロボット体験」、「スマートモビリティ試乗体験」等、多くの企画を展開した。



小間配置図





R2-46
不二越

R1-30
ファナック

ラウンジ
R1-29
デンソーウェーブ

R2-41
アイエイアイ

R2-44
キーエンス
R2-40 タツタ R2-39 沖電線

ラウンジ

R1-27
東芝機械
R1-28 ユーシン精機
R1-25 オリオン機械
R1-26 日刊工業新聞社

R1-24
シュンク・ジャパン

R1-19 シーメンスPLM ソフトウェア
R1-18 UT テクノロジー
R1-17 三次元メディア
R1-16 富士フイルム
R1-15 丸紅情報システムズ
R1-14 オートパレン
R1-13 ケンケン マーケティングジャパン
R1-12 シーモト・ジャパン
R1-11 マイクロテック
R1-10 エンジンメディア
R1-09 オートビット
R1-08 LIPS
R1-07 Soloman Technology
R1-06 カワダ ロボティクス / グローリー / THK インテックス / 日立 ハイテックロジーズ
R1-05 大新技研
R1-04 オートビット

R2-37 ワコテック
R2-36 ヒロセ電機

R2-35 西研 グラフィックス
R2-34 吉野川電機

R2-33 三桂製作所
R2-32 東京センサ
R2-31 JMACS SPINEA

R1-23 北川工業
R1-22 協立工業
R1-21 日機アセット
R1-20 東京ロボティクス
R1-19 日本物流システム機器協会
R1-18 三重ロボ小外装
R1-17 茨城研究所
R1-16 アルテック
R1-15 サワ
R1-14 エヌビディア
R1-13 愛知産業

R1-12 近藤製作所
R1-11 ナブテスコ

R2-13 コスメック
R2-12 クロイツ

R2-19 日本トムソン
R2-18 ニコン
R2-17 日伝
R2-16 日伝
R2-15 日伝
R2-14 日伝
R2-13 日伝
R2-12 日伝
R2-11 日伝
R2-10 日伝
R2-09 日伝
R2-08 日伝
R2-07 日伝
R2-06 日伝
R2-05 日伝
R2-04 日伝
R2-03 日伝
R2-02 日伝
R2-01 日伝

R2-18 日伝
R2-17 日伝
R2-16 日伝
R2-15 日伝
R2-14 日伝
R2-13 日伝
R2-12 日伝
R2-11 日伝
R2-10 日伝
R2-09 日伝
R2-08 日伝
R2-07 日伝
R2-06 日伝
R2-05 日伝
R2-04 日伝
R2-03 日伝
R2-02 日伝
R2-01 日伝

R1-10 CKD
R1-09 三木ブリー
R1-08 イルメジャパン
R1-07 日刊工業新聞社
R1-06 三重大学

R1-09 三木ブリー
R1-08 イルメジャパン
R1-07 日刊工業新聞社
R1-06 三重大学

R1-02 THK

R2-06 アサ電子工業
R2-05 KMT

R2-04 TAIYO
R2-03 レニショー
R2-02 日本マルコ
R2-01 日刊工業新聞社

R2-02 住友重機械工業 PTC事業部
R2-01 日刊工業新聞社

R1-15 タンタ電線
R1-14 エヌビディア
R1-13 愛知産業

R1-14 エヌビディア
R1-13 愛知産業

東2ホール

ワークショップ会場 A

東1ホール

東5ホール

主催者事務局

登録所

東4ホール

R5-04 ウエノデクニカ
R5-03 西部電機

R5-02 経済産業省
ロボット導入実証事業

R5-24 第7回
ロボット大賞
合同展示

R5-01 Techman Robot
R5-02 ライフロボティクス
R5-03 ソリッドワークス・ジャパン
R5-04 Doog
R5-05 シズンマイクロ
R5-06 豆蔵

R5-10 ニッセイ
R5-11 ORIN協議会

R4-02 リコー
R4-01 マイセック
R4-13 キャプテン
インダストリーズ
R4-12 Physical Photon
R4-11 三共製作所
R4-10 岩田製作所

R5-12 KAR (Korea Association of Robot Industry)
韓国ハビリオン

R5-11 豊電子工業
R5-10 住友理工
R5-09 アステクノス
R5-08 フェスト
R5-07 自律制御システム研究所
R5-06 三明機工

R5-13 オムロン
R5-12 先進電業工業
R5-11 東芝インフラシステムズ
R5-10 金子コード
R5-09 ソフトロニクス

R5-13 オムロン
R5-12 先進電業工業
R5-11 東芝インフラシステムズ
R5-10 金子コード
R5-09 ソフトロニクス

R5-13 オムロン
R5-12 先進電業工業
R5-11 東芝インフラシステムズ
R5-10 金子コード
R5-09 ソフトロニクス

R5-31 KUKA
ロボティクス
ジャパン

R4-30 第一精工
R4-29 SMC
R4-28 ひろしま生産技術の会
R4-27 日本ビスコ
R4-26 三豊工業
R4-25 藤原研発
R4-24 日刊工業新聞社
R4-23 三共製作所
R4-22 日刊工業新聞社
R4-21 日刊工業新聞社
R4-20 日刊工業新聞社
R4-19 日刊工業新聞社
R4-18 日刊工業新聞社
R4-17 日刊工業新聞社
R4-16 日刊工業新聞社
R4-15 日刊工業新聞社
R4-14 日刊工業新聞社
R4-13 日刊工業新聞社
R4-12 日刊工業新聞社
R4-11 日刊工業新聞社
R4-10 日刊工業新聞社
R4-09 日刊工業新聞社
R4-08 日刊工業新聞社
R4-07 日刊工業新聞社
R4-06 日刊工業新聞社
R4-05 日刊工業新聞社
R4-04 日刊工業新聞社
R4-03 日刊工業新聞社
R4-02 日刊工業新聞社
R4-01 日刊工業新聞社

R5-31 富士機械製造
R5-30 ストープ

R5-19 IDEC
R5-18 ダイナックス

R5-13 オムロン
R5-12 先進電業工業
R5-11 東芝インフラシステムズ
R5-10 金子コード
R5-09 ソフトロニクス

R5-13 オムロン
R5-12 先進電業工業
R5-11 東芝インフラシステムズ
R5-10 金子コード
R5-09 ソフトロニクス

R5-13 オムロン
R5-12 先進電業工業
R5-11 東芝インフラシステムズ
R5-10 金子コード
R5-09 ソフトロニクス

R5-31 KUKA
ロボティクス
ジャパン

R4-45 ハーモニックドライブ・システムズ
R4-44 クリエイティブテクノロジー
R4-43 三友工業

R5-22 川崎重工業

R4-47 安川電機

R4-46 三菱電機
ラウンジ



出展企業・団体一覧 (五十音順 ※共同出展者)

■ 産業用ロボットゾーン (IR)

IR2-41 アイエイアイ
 IR1-07 アイシイ
 IR1-14 愛知産業
 IR5-19 IDEC
 ※IDECファクトリー
 ソリューションズ
 IR4-10 アクサ・インベストメント・
 マネージャーズ
 ※大和証券投資信託委託
 アサ電子工業
 IR2-06 旭興産
 IR3-72 アジリル
 IR5-09 アステクノス
 IR3-37 アルコ
 IR1-17 アルテック
 ※匠
 IR4-35 飯塚研究開発機構
 ※九州工業大学
 ※レイドリクス
 IR3-43 イグス
 IR3-16 因幡電機産業
 IR2-30 イリノ電子工業
 IR1-08 イルメジャパン
 IR4-20 岩田製作所
 IR3-88 International Federation of
 Robotics(IFR)
 IR3-87 インダストリアル・バリューチェーン
 イニシアティブ (IVI)
 IR5-04 ウエノテクニカ
 IR3-56 ABB
 IR3-02 エクセル
 IR4-39 SMC
 IR3-60 SKマシナリー
 IR3-40 SBC
 IR2-28 SUS
 IR4-16 エナテック
 IR3-84 エヌ・ティー・エス
 IR3-52 エヌテック
 IR3-30 NPMハイテクロジーズ
 ※ELMO Motion Control
 ※Kollmorgen
 IR1-13 エヌビディア
 IR3-73 エパオン
 IR3-42 エプソン販売
 ※セイコーエプソン
 IR3-89 AUTOMATICA 2018 -
 メッセ・ミュンヘン
 IR4-08 大田区産業振興協会
 IR2-39 沖電線
 IR4-07 荻野製作所
 IR3-08 小倉クラッチ
 IR5-05 OptoForce
 IR5-13 オムロン
 IR4-22 ORIN協議会
 IR1-25 オリオン機械
 ※東日本オリオン
 IR5-06 On Robot
 IR3-63 格林策巴赫機械(嘉善)
 IR3-01 合肥嘉東光学股份
 IR5-17 金子コード
 IR5-22 川崎重工業
 IR1-01 カワダロボティクス
 ※グローリー
 ※THKインテックス
 ※日立ハイテクノロジーズ
 IR2-21 カンタムエレクトロニクス
 IR2-10 関東精機
 IR2-44 キーエンス
 IR1-23 北川工業
 IR3-05 木村洋行
 IR4-13 キャプテンインダストリーズ
 ※Axelent
 ※Rollon
 IR1-22 協立工業
 IR4-31 KUKAロボティクスジャパン
 IR3-29 倉敷紡績 技術研究所
 IR3-57 グリーネプランニング
 IR4-44 クリエイティブテクノロジー
 IR2-12 クロイツ
 IR3-04 ケーメックス
 IR3-82 KH Gears
 IR2-05 KMT
 IR5-02 経済産業省
 ロボット導入実証事業
 IR3-59 KEBA Japan
 IR3-03 コアレスモータ

IR3-95 工業通信
 IR5-14 光進電気工業
 IR3-26 甲府精紙
 IR2-13 コスメック
 IR2-36 小原歯車工業
 IR5-07 コボット
 IR5-12 Korea Association of
 Robot Industry (KAR)
 ※Gyeonggido
 Business & Science
 Accelerator(GBSA)
 IR1-12 近藤製作所
 IR4-38 SATECH
 IR3-19 サーボロボ
 IR1-18 サワ
 IR4-42 サンエテック
 IR4-21 三共製作所
 IR4-36 三恵工業
 IR2-38 三桂製作所
 IR3-07 三松
 IR4-32 三明機工
 IR4-43 三友工業
 IR1-10 CKD
 IR3-54 シーティーケイ
 ※シーティーケイEAST
 ※シーティーケイWEST
 IR3-47 G-HOO
 IR2-33 JMACS
 IR1-32 Genesis Robotics
 IR4-04 シチズンマイクロ
 IR3-45 シナノ精密
 IR3-27 ジマテック
 IR3-75 Shanghai Plutools Automation
 IR3-31 シュマルツ
 IR1-24 シュンク・ジャパン
 IR4-33 自律制御システム研究所
 IR3-83 CIROS (中国国際ロボット展示会)
 IR2-08 Shenzhen Yuejiang Technology
 (DOBOT)
 IR3-39 シンフォニーマーケティング
 IR2-15 スギノマシン
 IR2-29 スキューズ
 IR2-07 スター精機 アインツ事業部
 ※国盛化学
 IR5-20 ストープリ
 IR3-78 Smart Factory+Automation
 World 2018 (Coex)
 IR2-32 SPINEA
 IR2-22 住友重機械工業 PTC事業部
 IR3-58 住友重機械工業
 メカトロニクス事業部
 IR5-10 住友理工
 IR2-25 西研グラフィックス
 IR5-03 西部電機
 IR2-31 泉州電業
 ※エヌビーエス
 IR5-16 ソフトロニクス
 ※マイクロサーボ
 IR4-26 ソリッドワークス・ジャパン
 IR4-30 第一精工
 IR4-15 大電
 IR4-23 ダイドー
 IR5-18 ダイナックス
 IR5-24 第7回ロボット大賞
 IR2-47 ダイヘン
 IR2-04 TAIYO
 IR2-34 大和電業
 IR3-20 台湾パビリオン
 ※ICOP TECHNOLOGY
 ※SF TECHNOLOGY
 ※LEADERG
 ※TAIROA
 IR2-40 タツタ
 IR1-15 タツタ電線
 ※立井電線
 ※中国電線工業
 IR3-17 WTM
 IR2-43 多摩川精機
 IR3-81 中国国際工業博覧会ロボット展
 ※上海ロボット協会
 IR3-93 中国智能製造工業園区
 ※Shanghai ROB
 Intelligent Technology
 IR3-48 中国服務機器人応用及推广連盟
 IR1-02 THK
 ※THKインテックス
 IR3-68 DMカードジャパン

IR3-15 デクシス
 IR3-09 テクノダイナミクス
 IR3-32 テクノハンズ
 IR3-34 テクノロジーリンク
 IR5-01 Techman Robot
 IR1-29 デンソーウェーブ
 IR4-09 デンマーク大使館
 IR4-05 Doog
 IR3-13 ドイツ貿易・投資振興機関(GTAI)
 IR3-12 東京エレクトロニクス
 IR2-37 東京センサ
 IR1-19 東京ロボティクス
 IR5-15 東芝インフラシステムズ
 IR1-27 東芝機械
 IR3-55 トビー・テクノロジー
 IR1-11 ナブテスコ
 IR2-23 鍋屋バイテック会社
 IR2-11 ニコン
 IR2-18 日伝
 IR3-28 日刊工業新聞社
 IR1-20 日興アセットマネジメント
 IR4-14 ニッセイ
 IR2-17 ニッタ
 IR2-14 日本精工
 IR2-19 日本トムソン
 IR3-36 日本ベアリング
 IR3-91 日本食品機械工業会
 IR3-33 日本鍛圧機械工業会
 IR3-49 日本電産シンボ
 ※日本電産
 ※日本電産サンキョー
 IR3-06 日本バイナリー
 IR4-27 日本ビスコ
 IR1-31 日本物流システム機器協会
 IR3-90 日本包装機械工業会
 IR2-02 日本マルコ
 IR3-92 日本ロボット工業会
 IR4-17 野村ユニソン
 ※ナンシン機工
 IR3-10 パーツサプライセンター
 ※Xiamen Wain Electrical
 IR4-45 ハーモニック・ドライブ・
 システムズ
 IR3-25 ハイウイン
 IR3-46 八光オートメーション
 IR4-06 林製作所
 IR2-16 ビー・アンド・プラス
 IR3-44 ビー・エル・オートテック
 IR2-09 ビアブ・ジャパン
 IR2-20 日立金属
 IR2-45 平田機工
 IR4-28 ひろしま生産技術の会
 ※市川物産
 ※インタフェース
 ※シグマ
 ※ダイキョーニシカワ
 ※ハイエレコン
 ※ヒロテック
 ※メカトロデザイン
 ※ワイテック
 IR2-26 ヒロセ電機
 IR1-30 ファナック
 IR4-12 Physical Photon
 IR4-34 フェスト
 IR3-50 福島県双葉町
 IR5-21 富士機械製造
 IR2-46 不二越
 IR4-01 マイセック
 IR4-03 豆蔵
 IR1-03 三重大学
 ※ナベル
 IR1-16 三重ロボット外装技術研究所
 IR1-09 三木ブリー
 IR3-22 ミットヨ
 IR4-46 三菱電機
 IR3-24 妙徳
 IR4-40 MUJIN
 ※FAプロダクツ
 ※オムロン
 ※三明
 ※三明機工
 ※三明電子産業
 ※JET
 ※しのはらプレスサービス
 ※西部電機
 ※トランセンド

※橋本電機工業
 ※PAL
 ※明和eテック
 IR1-21 メトロール
 IR3-18 モリタアンドカンパニー
 IR4-47 安川電機
 IR2-42 ヤマハ発動機
 IR1-28 ユーシン精機
 IR3-62 YOODS
 ※フォークス
 IR5-11 豊電子工業
 IR5-08 Universal Robots
 IR2-24 吉野川電線
 IR4-24 ライフロボティクス
 IR1-04 Leaderdrive Harmonious
 Drive System
 IR4-02 リコー
 IR3-21 レイデント工業
 IR2-03 レニシヨ
 IR3-41 レプトリノ
 IR2-01 レンタルのニッケン
 ※竹中工務店
 IR3-14 ローム
 IR3-35 ロボット革命イニシアティブ
 協議会 (IRRI)
 IR3-23 ロボテック
 ※ユニバルス
 IR2-27 ワコーテック

■ ロボットシミュレーション& ビジョンシステムゾーン (IRV)

IRV-05 アベルザ オートメーション新聞社
 IRV-03 SPIエンジニアリング
 IRV-02 オービット
 IRV-17 オプテックス・エフエー
 IRV-10 キヤノンマーケティングジャパン
 IRV-06 コスモグラフ
 IRV-16 三次元メディア
 IRV-19 シーメンスPLMソフトウェア
 ※NTTデータエンジニア
 リングシステムズ
 ※電通国際情報サービス
 ※UTテクノロジー
 IRV-13 ジェービーエム
 IRV-14 上海愛観視覚科技
 ※Bi2-Vision
 IRV-09 セニット・ジャパン
 IRV-12 ゼネテック
 IRV-07 Solomon Technology
 IRV-08 大新技研
 IRV-15 富士フィルム
 IRV-04 マイクロ・テクニカ
 IRV-11 丸紅情報システムズ
 IRV-18 UTテクノロジー
 IRV-01 LIPS

■ サービスロボットゾーン (SR)

SR-26 アルティ
 SR-42 あいちロボット産業クラスター
 推進協議会
 ※アスカ
 ※ケーイーアール
 ※バイナス
 ※ブイムシー
 ※マクス エンジニアリング
 SR-12 会津大学
 SR-54 アイティーシー
 SR-64 アイファ電気商会
 SR-07 i-RooBO Network Forum
 ※AIDOR共同体・大阪市
 ※グイストン
 ※東洋理機工業
 ※日本電信電話
 ※双葉電子工業
 ※マイクロ・ビークル・ラボ
 SR-05 INNOECHO/INNOROBO
 インダストリーネットワーク
 SR-22 ImPACTタフ・ロボティクス・
 SR-44 チャレンジ/科学技術振興機構
 H2L
 SR-04 ※川淵機械技術研究所
 SR-51 AMY Robotics
 SR-83 AMEDロボット介護機器開発
 補助・導入促進事業
 SR-40 SMFLレンタル

SR-62 NOK
※日本メクトロン

SR-30 FADrone

SR-59 MIDC (Manufacturing Innovation Development Corporation) of Hanbat University

SR-02 オーム社

SR-63 岡野電線

SR-56 各務原市
※今仙技術研究所
※ブイ・アール・テクノセンター

SR-52 北九州ロボットフォーラム/
北九州産業学術推進機構
※福岡県ロボット・システム産業振興会議/ふくおか医療福祉関連機器開発・実証ネットワーク

SR-28 キヤノンファインテックニスカ

SR-66 K-power RC Servo Model Technology

SR-58 工苑

SR-47 神戸医療産業都市
※アワジテック
※旭光電機

SR-72 近藤科学

SR-61 埼玉県
※コスミックエムイー
※埼玉県産業技術総合センター
※生活革命
※ボーダック

SR-74 産業技術総合研究所

SR-49 三和電子機器

SR-78 SEQSENSE

SR-81 ジェイテクト

SR-31 シナノケンシ

SR-67 Shandong Chuangze Information & Technology

SR-21 Shanghai Slamtec

SR-09 新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)/World Robot Summit (WRS)

SR-24 新興技術研究所

SR-25 新光電子

SR-13 スマートロボティクス
※EcareLife Technologies

SR-73 セールス・オンデマンド

SR-48 ゼック

SR-86 創造再生研究所

SR-60 タカコ

SR-01 THK

SR-65 T-D-F

SR-87 天津経済技術開発区日本事務所

SR-08 東京都立産業技術研究センター

SR-77 東京理科大学
※アサヒサンクリーン
※イノフィス
※菊池製作所

SR-85 東北大学
田所・昆陽・多田隈研究室

SR-10 栃木県
※イーヴァ
※五百部商事
※オグラ金属

SR-53 トビー工業

SR-36 とやまロボット技術研究会
ネットワーク/富山県新世紀産業機構
※エヌアイシ・オートテック
※小矢部精機
※シキノハイテック
※日本抵抗器グループ/
マイクロジェニクス
※バンテクニカ

SR-70 トヨタ自動車

SR-76 長崎県

SR-45 ニッカリ

SR-33 日本原子力研究開発機構
橋本遠隔技術開発センター

SR-41 日本ユニシス

SR-23 日本ロボット学会

SR-20 Next Technology

SR-80 農林水産省
※イノフィス
※宇都宮大学
※クボタ
※準天頂衛星システムサービス

※スキューズ
※東京大学/三陽機器
※農研機構革新工学センター/内閣府SIP
※パナソニック
※山梨大学
※和歌山大学

SR-34 ハイボット

SR-79 パナソニック

SR-46 浜口ウレタン

SR-38 バンゴリン・ロボット・ジャパン

SR-15 日立システムズ

SR-43 福島県
※アイザック
※エヌティエス
※FSK
※キャスト/
白河素形材ヴァレー
※サクラテック
※GClue

SR-39 富士通
※ユニロボット

SR-35 北陽電機

SR-29 Bot3

SR-06 マイクロスター

SR-16 マイクロテック・ラボラトリー

SR-71 マクソンジャパン

SR-19 マクニカ

SR-75 マッスル

SR1-16 三重ロボット外装技術研究所

SR-32 三菱重工業
※三菱電機特機システム

SR-11 山下マテリアル

SR-69 ユカイ工学

SR-90 U-Chain AI Technology

SR-88 UFACTORY

SR-17 リバスト

SR-50 Leishen Intelligent System

SR-27 レイトロン

SR-57 Leju (Shenzhen) Robotics

SR-68 Rosnes

SR-18 ロゼッタ

SR-03 ロボットサービスイニシアチブ(RSI)

SR-14 ロボットスタート

SR-37 ROBOTIS

■ かながわロボットイノベーション

SR-84 アース
厚木市
※厚木市ロボット産業推進協議会

ATSUMO
(あつぎものづくりブランドプロジェクト)
イクシスリサーチ
エクストコム
小川優機製作所
神奈川県企業誘致促進協議会
神奈川県よろず支援拠点
神奈川県立産業技術総合研究所
神奈川大学
かわさきロボット競技大会
川本重工
コーワテック
さがみはらロボットビジネス協議会
※永進テクノ
※F-Design
※キャロットシステムズ
※サーボテクノ
※さがみはらHSR社会実装研究会
※さがみはらロボット導入支援センター
※JET
※メディアプラス
※MEMOテクノス
※ユタカ精工
神峯電子
新陽冷熱工業
※アサイ・エンジニアリング
杉浦機械設計事務所
大和ハウス工業
ダブル技研
テレビジネス
富士ソフト
ペイサン

VECTOR
※ベイエリアおもてなし
ロボット研究会
マキシマム・テクノロジー
ユーエスディー
横浜電子
ラッキーソフト
リテック
レボックス
ロボットゆうえんち

■ モノづくりバビリオン withかながわ

SR-84 A・R・P
相模通信工業
テクトレージ
ニイガタ
服部板金工業
藤沢商工会議所 工業部会
※サイマコーポレーション
※高井精器
※日電工業
※森重製作所
※モールドテック
よこはまファクトリー

■ RT交流プラザ

RT-27 秋田県立大学 齋藤敬研究室

RT-20 宇都宮大学 尾崎研究室

RT-23 宇都宮大学 尾崎研究室
※自治医科大学 川上研究室

RT-34 金沢工業大学 中沢実研究室

RT-19 岐阜大学

RT-18 慶應義塾大学 ハプティクス研究センター
※慶應義塾大学 野崎研究室

RT-33 神戸市立工業高等専門学校
清水研究室
※ChiCaRo

RT-15 芝浦工業大学 ロボティクス
コンソーシアム

RT-17 中央大学 中村研究室

RT-10 筑波大学 医用生体工学(星野聖)研究室
※宇宙航空研究開発機構
※株式会社クレセント
※産業技術総合研究所
フィールドロボティクス研究グループ
※玉川大学 工学部
岡田研究室

RT-22 筑波大学ロボット研究グループ
UTARC

RT-31 電気通信大学 長井研究室

RT-24 東海大学 小金澤・甲斐・坂上研究室

RT-16 東京工業大学 長谷川修研究室
※SOINN

RT-12 東京大学 IRT研究機構

RT-30 東京大学 石川渡辺研究室

RT-06 豊橋技術科学大学
人間・ロボット共生リサーチセンター

RT-11 日本工業大学 樋口研究室

RT-21 防衛大学校 ロボット工学研究室

RT-25 山形大学 ソフトマター
ロボティクスコンソーシアム

RT-14 山形大学 妻木研究室

RT-29 山梨大学 寺田研究室

RT-13 山梨大学 野田研究室

RT-26 横浜国立大学 前田研究室

RT-32 横浜国立大学・大学院工学
研究院 島研究室
※県立広島大学・大学院
総合学術研究科

RT-02 立命館大学
ソフトロボティクス研究室

RT-03 立命館大学 川村研究室

RT-01 立命館大学
ヒューマノイドシステム研究室

RT-04 立命館大学
生物知能機械学研究室

RT-08 早稲田大学 菅野研究室

RT-05 早稲田大学 岩田浩康研究室

RT-07 早稲田大学 可部研究室

RT-28 早稲田大学田中(英)研究室・
広島大学弓削研究室
※広島大学大学院
医歯薬保健学研究院

RT-09 早稲田大学大学院
松丸隆文研究室

■ 「第7回ロボット大賞」合同展示

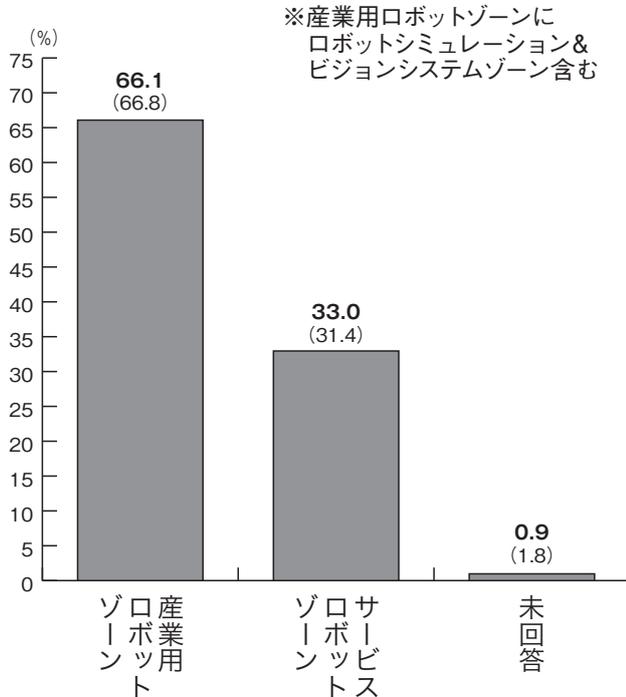
IR5-24 MUJIN
ソフトバンクロボティクス
宇都宮大学 尾崎研究室/
アイ・イート
CYBERDYNE
ヤンマー
ルーチェサーチ
幸和製作所/RT.ワークス
IDEC
ファナック
シルヴァーウィング
レスキューロボットコンテスト
実行委員会
ロボティック・バイオロジー・
インスティテュート/産業技術
総合研究所
セコム
井関農機/鳥取大学
森本研究室
和歌山大学/パワーアシスト
インターナショナル

来場者アンケート集計結果 (調査対象：30,000名)

※ () は前回2015年

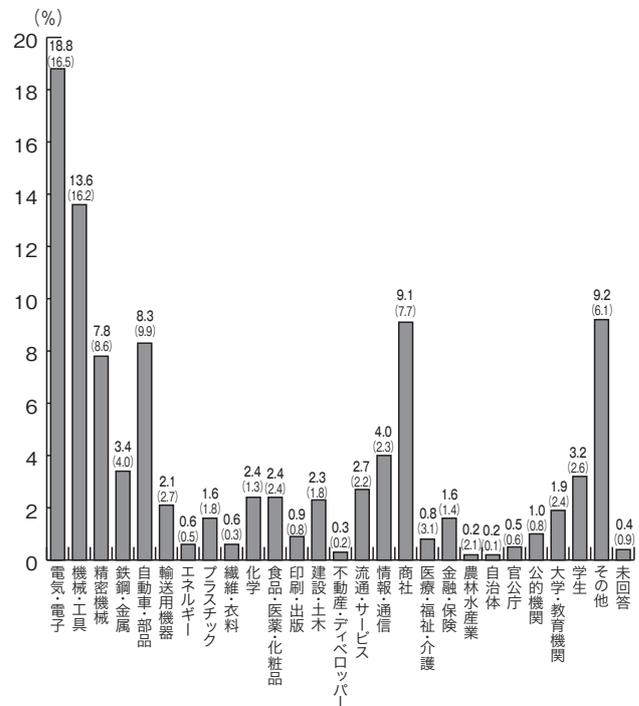
Q1.

ご来場之际して、どちらのロボットゾーンを目的に来場されましたか？



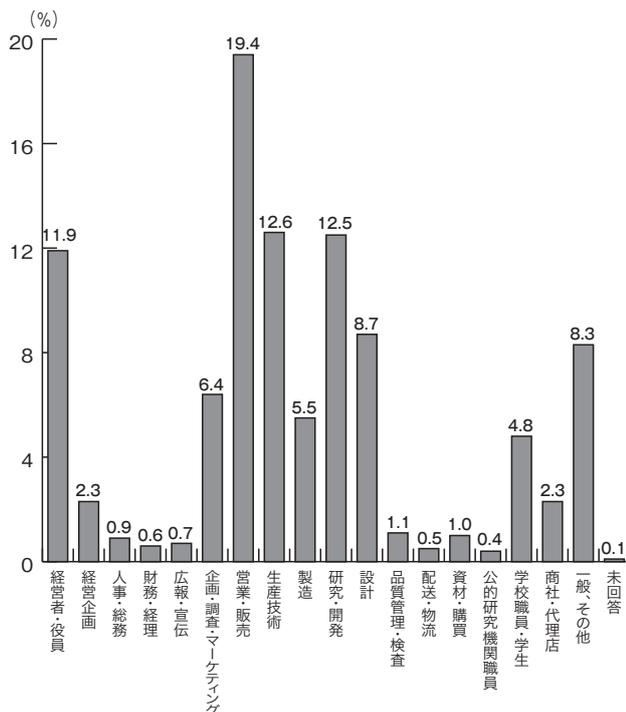
Q2.

あなたの会社の業種は何ですか？



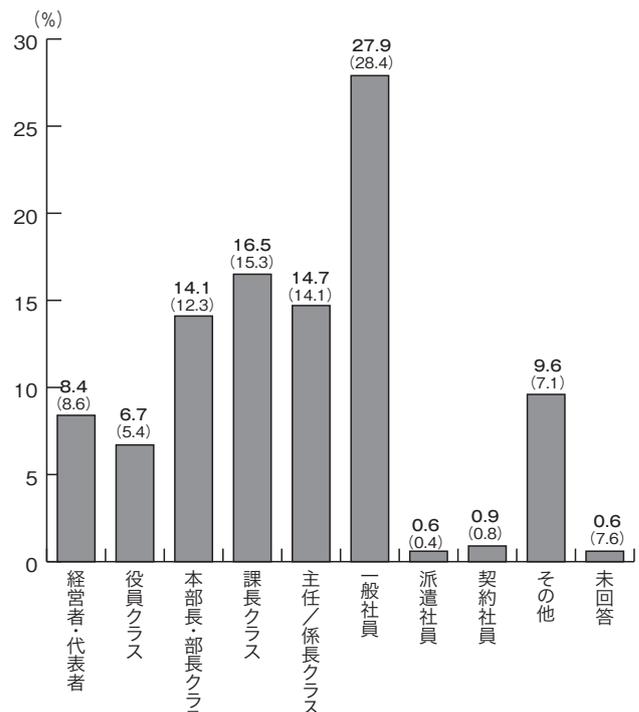
Q3.

あなたの職種は何ですか？



Q4.

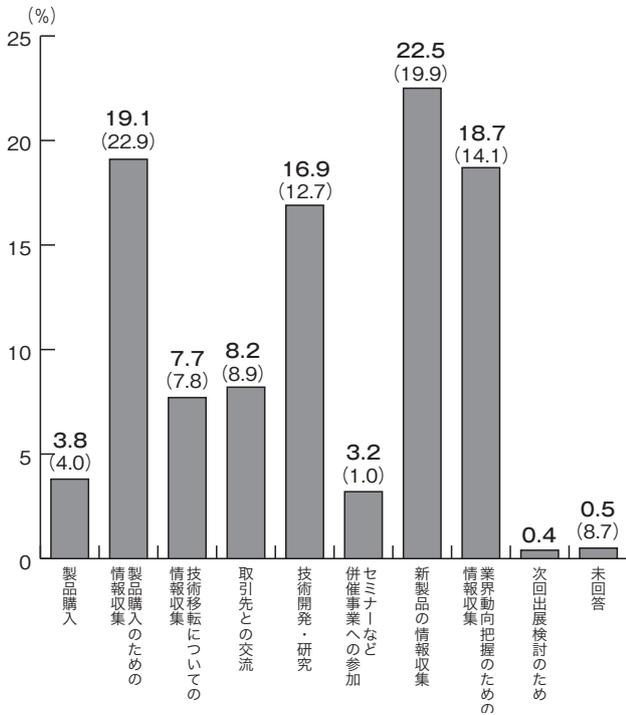
あなたの役職は何ですか？



※今回より職種分類を変更したため2015年のデータはありません

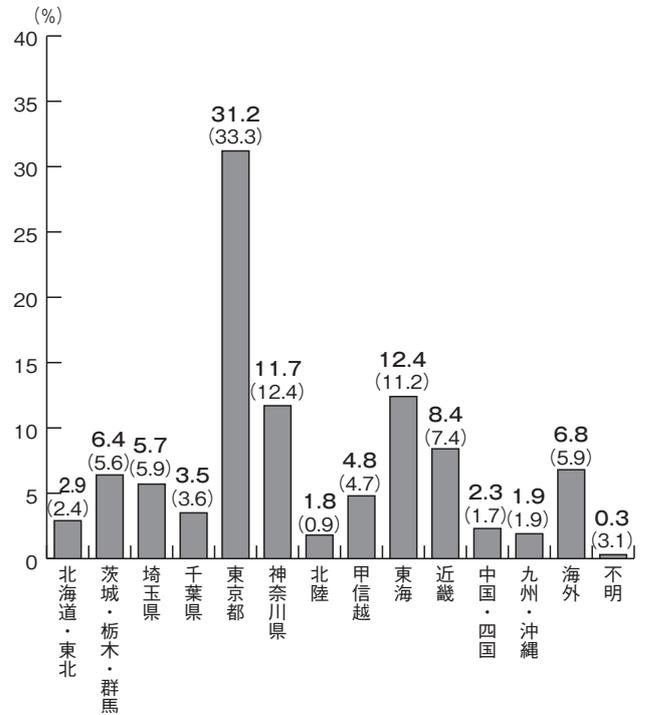
Q5.

来場目的は何ですか？
(複数回答可)



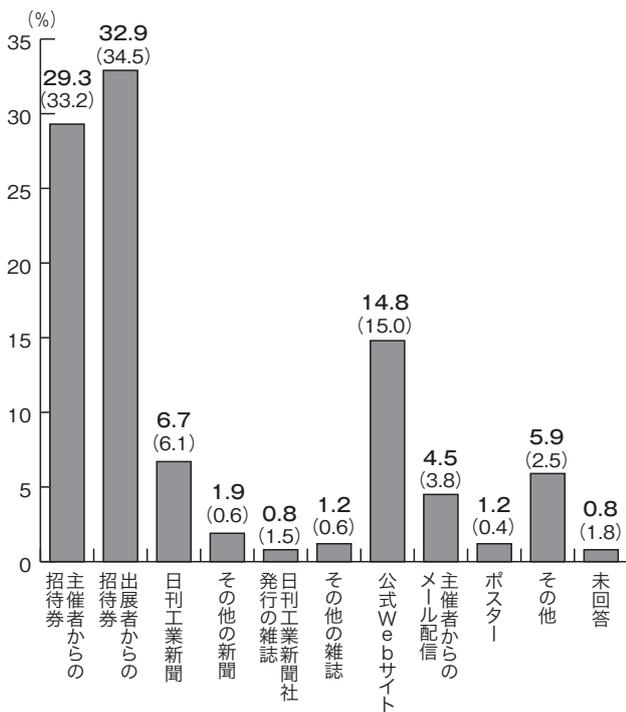
Q6.

どちらから来られましたか？
(同時開催展と共通で集計)



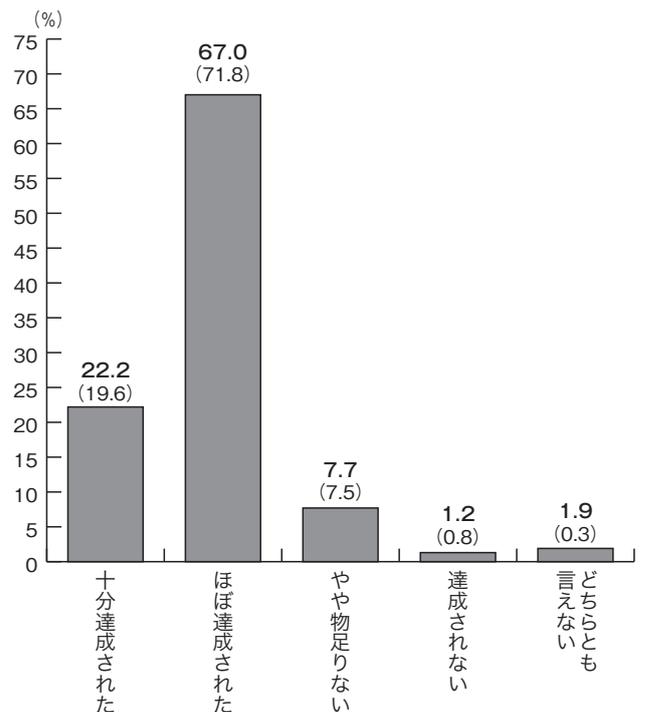
Q7.

本展を何で知りましたか？
(複数回答可)



Q8.

ご来場の目的は達せられましたか？
(個別アンケートより 回答数600件)



プレス来場リスト (243社)

Aetas
AFP通信社
ANIME NEWS NETWORK
AP通信社
ARCジャパンオフィス
Bahagshi Film
BCN
Bloomberg L.P.
BS TBS
BSジャパン
BSフジ
CGTN
Channel 5
Channel J
CLEAN GREEN FORUM JAPAN
CQ出版
Die Standard
dwango
econNEWSnetwork
EFEスペイン通信社
EPA
Gichoビジネスコミュニケーションズ
Handelsblatt
HIDEOKI PRODUCTION
IDC Japan
IDG News Service
Information M&B
INNOECHO
J-ONE TV
KADOKAWA
LION ASSOCIATES
MBS
Media Journal
mediacorp
MICE研究所
Mogura
MOVE ASSOCIATE
NCネットワーク
NHK
NHKエンタープライズ
Press club concordia
PRESSTV
RECORD TV
RELIANCE
robotnews
ROSSIYA SEGODNYA
Sabeevo
SBC信越放送
SBS
SBクリエイティブ
Science Media Centre
System B
TBSテレビ
The Electronic Times
The Wave
THOMSON REUTERS
THE WORLD FOLIO
Tokyo Headlines Media
TravelsIn
Viiibar
WELKS
アールジーン
アイティメディア
朝日インタラクティブ
朝日学生新聞社
朝日新聞社
朝日新聞出版
飛鳥出版社
アフロ
アベルザ
アルゴナビス
アルファ企画
イード
インダストリージャパン
インプレス
エキスプレススポーツ
エムオン・エンタテインメント
エンジニアリングニュース社
大分合同新聞社
オートメーション新聞社
オーム社
おかしん総研

オプトロニクス社
ガートナージャパン
化学工業日報社
ガスレビュー
家電販売新聞社
加部安村マーケティングオフィス
ガンマ通信
企業家ネットワーク
ぎふと
教育美術振興会
共同通信社
金属産業新聞社
金融リテラシー研究所
クウェート国営テレビ
楠田インターナショナル
クリーンエネルギー調査・研究所
クリエイティブ・リンク
クリエイト日報
クレタ
グローブコム
ケイオフィス
経済産業新報社
ケイテック
玄
工学社
工業通信
航空新聞社
講談社
講談社ビーシー
鋼鉄新聞社
神戸新聞社
コーティングメディア
国際商業出版
国際農業社
ゴム化学新聞社
財界にっぽん
在日ドイツ商工会議所
相模経済新聞社
産業開発機構
産業経済新聞社
産業タイムズ社
産経編集センター
産報出版
シーエムシー・リサーチ
ジェイツ・コンプレックス
シオング
時事通信社
実業之富山社
ジッピープロダクション
ジャパン・インダストリー・ニュース
ジャパンタイムズ
重化学工業通信社
週刊粧業
潤滑通信社
商業経済新聞社
商工経済新聞社
食品産業新聞社
城ノ越記者クラブ
新華社
新樹社
シンクイット
新農林社
新報
水産経済新聞社
水産新聞社
水産タイムズ社
素形材通信社
スクールパートナーズ
スタジオタカイラ
政策総合研究所
誠文堂新光社
世界日報社
全国賃貸住宅新聞社
創生する未来
ソネット・メディア・ネットワークス
ソルクシーズ
大河出版
大徳Net Co.
ダイヤモンド社
大和証券メディアネットワークス
中国中央テレビ
中小企業基盤整備機構

中日新聞社
朝鮮日報社
ティー・ワイ・オー
テレビ朝日
テレビ大阪
テレビ神奈川
テレビ東京
電気通信振興会
電波新聞社
ドイツ貿易投資振興機構
東亜日報
東京都日本中国友好協会
東京メトロポリタンテレビジョン
東洋経済新報社
富山テレビ
塗料報知新聞社
内外多文化福祉新聞
中時集團
ナビゲータープラットフォーム
日刊工業出版プロダクション
日刊工業新聞社
日刊自動車新聞社
日刊スポーツ新聞社
日刊木材新聞社
日経BP社
日経映像
日経ラジオ社
日報ビジネス
ニッポンドットコム
日本・社会システムラボラトリー
日本金融通信社
日本経済新聞社
日本工業出版
日本産機新聞社
日本食糧新聞社
日本設備工業新聞社
日本テクノロジーソリューション
日本テレビ
日本農業新聞社
日本物流新聞社
日本包装機械工業会
ニュースダイジェスト社
ニュースニッポン社
ニュースピックス
ニュープリンティング
ニューヨーク・タイムズ・カンパニー
農経新報社
ノオト
ピー・オー・ビー
ビデオ
ピリヴ・ジャパン
ファイネックス
ファスニングジャーナル
フォースタイムズ社
深州市遊迷天下科技
福祉新聞社
福島中央テレビ
フジテレビ
物流機械新聞社
物流ニッポン新聞社
文化放送
へもか
ポスティ コーポレーション
マイナビ
毎日新聞社
毎日新聞出版
マスコミ文化協会
みずほ総合研究所
みなと山口合同新聞社
明治大学
メカニカルテック社
メディアジーン
メディアリソース
モリイチ
輸送経済新聞社
読売新聞社
理工出版社
流通研究社
ロボットスタート

※法人格略・五十音順

■ 主な広報・PR活動一覧

項目		数量	内容・先	実施期間
ポスター	A1判	3,000枚	関係メーカー、協賛団体などへ配布	2017年1月～
招待券	出展者用	50万枚	出展者に無料配布(封筒とセット)	2017年10月～
	主催者用	50万枚	主催者が送付	
			日刊工業新聞社主催、共催展示会の来場者(2015国際ロボット展、MF-Tokyo2017 他)	
			日刊工業新聞社主催セミナー・フォーラム参加者	
海外向け(英語・中国語)	7万枚	海外出展者、海外メーカー、海外ロボット関連団体、大使館に配布		
インターネットでの来場動員			日本ロボット工業会、日本ロボット学会等関連団体での情報発信	2017年8月～
			国際ロボット展公式Webサイト	2017年10月～
			国際ロボット展日刊工電子版特設サイト	2017年10月～
			Twitter(ツイッター)	2017年10月～
新聞広告	企画特集(別刷)	1回	国際ロボット展 特集	2017年11月28日
	新聞広告	5回	全面モノクロ、全5段広告	2017年11月～
雑誌広告			日本ロボット工業会誌「ロボット」	2017年11月号
			新製品情報	2017年11月号
			日本ロボット学会誌	2017年11月号
			ロボコンマガジン	2017年11月号
			プレス技術	2017年12月号
			機械設計	2017年12月号
			型技術	2017年12月号
			工場管理	2017年12月号
			機械技術	2017年12月号
		生産財マーケティング	2017年12月号	
チラシ(両面・カラー)		3,000枚	国際福祉機器展、Japan Pack 2017、海外展示会等で配布	2017年9月～
E-mail 配信		17万件×4回	日刊工業新聞社主催の過去展示会来場者、セミナー参加者等へ配信	2017年10月～
iREX Daily		73,000部	会場来場者へ配布、特設サイトにてDL可能	2017年11月29日～
Worldfolio		5,000部	会場来場者へ配布	2017年11月29日～
新聞折り込みチラシ		約160万枚	新聞販売店(朝日、読売、毎日など)より、各事業所および一般世帯に配布 配布地区: 東京23区、多摩地区、関東甲信越、東海、近畿	2017年11月～
プレスリリース		約600社	TV局、新聞社等、各マスコミへ配信	2017年10月～

■ プレス発表会の実施

2017年10月19日(木) 東京プリンスホテルにて『2017国際ロボット展プレス発表会』を開催し、新聞、雑誌、テレビその他の各種媒体に広く情報発信を行った。

(参加社・人数 40社 60名)



■ プレスリリースの発行



日本語版



英語版

■ 主な報道一覧

項目	内容	実施期間
TV/ラジオ	「首都圏ネットワーク」NHK首都圏放送センター	2017年11月28日
	「ゴゴスマ～GOGO! Smile!～」TBS	
	「Nスタ」TBS	
	「めざましテレビ」フジテレビ	
	「FNNスピーク」フジテレビ	
	「みんなのニュース」フジテレビ	
	「THE NEWS α」フジテレビ	2017年11月29日
	「Mプラス11」テレビ東京	
	「ゆうがたサテライト」テレビ東京	
	「ワールドビジネスサテライト」テレビ東京	
	「ニュースブリッジ北九州」NHK北九州	
	「みんなのニュース 報道ランナー」関西テレビ	
	「クロズアップ現代+」NHK	
	「めざましテレビアクト」フジテレビ	
	「グッド! モーニング」テレビ朝日	
	「Newsモーニングサテライト」テレビ東京	
	「ワールドビジネスサテライト」テレビ東京	2017年11月30日
	「ニュースリアル」テレビ大阪	
	「BS日経モーニングプラス」BSジャパン	
	「マーケットプレス」ラジオNIKKEI	
「ニュース シブ5時」NHK		
「news every.」日本テレビ	2017年12月1日	
「よじごじdays」テレビ東京		
「みんなのニュース チャンネル8」富山テレビ	2017年12月5日	
「Newsroom Tokyo」NHKワールド	2017年12月7日	
「Newsline」NHKワールド	2017年12月8日	
「ミライダネ」テレビ東京	2017年12月23日	
「あさイチ」NHK	2017年12月28日	
「リトルプレゼンター」フジテレビ	2017年12月29日	
「great gear」NHK国際放送局	2018年1月18日	
新聞	日本経済新聞	会期中/会期後
	読売新聞	
	日刊スポーツ	
	京都新聞	
	電波新聞	
	日本農業新聞	
	日本物流新聞	
	包装機械新聞、その他	
Web	ニュースイッチ	会期中/会期後
	ニコニコ動画	
	Yahoo!ニュース	
	livedoorニュース	
	朝日新聞デジタル	
	読売新聞 (YOMIURI ONLINE)	
	産経ニュース	
	ITmedia	
	Infoseekニュース、その他	
海外TV	CGTN (中国グローバルテレビジョンネットワーク)	2017年11月30日
	「News Asia」MediaCorp	2017年11月30日
	「交易時間」中国中央電視台	2017年12月3日
	「環球財經連線」中国中央電視台	2017年12月3日
	ソウル放送 (SBS)	2018年1月4日
海外Web	The Times	会期中/会期後
	The Telegraph	
	USA TODAY	



国内テレビ報道①



国内テレビ報道②



海外TV報道

2017国際ロボット展

INTERNATIONAL ROBOT EXHIBITION 2017

ロボット革命がはじまった
—そして人に優しい社会へ—

国際ロボット展

11/29(水) ▶ 12/2(土)
東京ビッグサイト
10:00~17:00
にて開催!!

世界最大級の
ロボット・トレードショー、
いよいよ明日開催!!

2017部品供給装置展

Parts Feeder Exhibition 2017

匠が拓く部品供給の未来

2017 洗浄総合展
SAMPE JAPAN 先端材料技術展 2017
モノづくりマツチングJapan 2017
11/29(水)
▶ 12/1(金)

主催：日刊工業新聞社 事務局 イベント事務局 〒103-8548 東京都中央区日本橋小町1-1 E-mail: j-ev@nikkan.co.jp

日刊工業新聞 全15段

2017国際ロボット展

INTERNATIONAL ROBOT EXHIBITION 2017

ロボット革命がはじまった —そして人に優しい社会へ—

11月29日
▶ 12月2日

東京ビッグサイト
東1-6ホール

主催：一般社団法人 日本ロボット工業会、
日刊工業新聞社

入場料：1,000円(事前登録者は無料)

QRコード

開催事業のご案内

11/29 IREXロボットフォーラム2017
11/29 NEDO ロボット・AIフォーラム 2017
11/30 R&D国際シンポジウム

会場レイアウト

日刊工業新聞 全5段

2017 国際ロボット展		出展募集 (1面参照)
<p>【会期】11月29日-12月2日 【会場】東京ビッグサイト(東ホール) 【出展対象】産業用ロボット、産業機械・関連設備、サービスロボット、ロボティクス・ソリューション&ソフトウェアシステムほか 【出展料金】1小間(開口36㎡)概算5万5千円(税別) ※小間広さのみ ※日本ロボット工業会正会員=32万5000円 ※日本ロボット工業会賛助会員および他団体=公共機関=3万5500円 ※一般=3万9000円 【申し込み締め切り】7月31日</p>	<p>【問い合わせ】 日刊工業新聞社 事務局 イベント事務局 〒103-8548 東京都中央区日本橋小町1-1 TEL:03-5544-7221 FAX:03-5541-6321 URL: http://fir.nikkan.co.jp/ev/irex/ 電子メール j-ev@nikkan.co.jp 主催 日本ロボット工業会 日刊工業新聞社</p>	

日刊工業新聞 社告 (7面)

O1
2017年(平成29年) 11月28日・火曜日 (第2部)
発行所日刊工業新聞社 2017 日刊工業新聞社(本)TEL:03-5644-7000 東京都中央区日本橋小町1-4-1
日刊(土曜日・日曜日休刊)
創刊15年8月17日第3種郵便物認可

2017国際ロボット展

INTERNATIONAL ROBOT EXHIBITION 2017

ロボット革命がはじまった
—そして人に優しい社会へ—



11月29日から12月2日までの4日間、東京・有明の東京ビッグサイトで「2017国際ロボット展」が開催される。今回は出展社数、出展規模とも過去最大。産業用ロボットからサービスロボットまで、国内外の最新技術、製品が一堂に会する世界最大規模のロボット専門展だ。テーマは「ロボット革命がはじまった—そして人に優しい社会へ」。今回は人とロボットが共存、協働する新たな社会が実感できる展示も見どころ。入場料は1000円。ウェブでの事前登録者や招待券持参者および中学生以下は無料。会期中は約13万人の来場者を見込んでいる。

第2部

11月28日 火曜日

2017年(平成29年)

2017国際ロボット展

自動化で未来を拓く

CKD

東1ホール IR1-10



主催者発行新聞

IREX Daily

展覧中毎日、イベントや会場の様子を、開場前へのインタビューなどを掲載。

発行: 日本ロボット工業会・日刊工業新聞社 制作: 日刊工業新聞社

会場配布

2017年

11月29日(木) - 12月2日(日)

10:00 - 17:00

東京ビッグサイト 東ホール

INDEX

- ① 日本ロボット工業会会員まつり、国際ロボット展みどころ
- ② ロボットビジョン・技術の研究動向
- ③ 有力企業の製品・技術
- ④ ロボット商アブテュレーターの実態と最新研究紹介
- ⑤ 有力企業の製品・技術
- ⑥ 今後のAI・ロボットの発展
- ⑦ 有力企業の製品・技術
- ⑧ 最新事業情報
- ⑨ 会場MAP

日刊工業新聞電子版に

2017国際ロボット展 Special Contents

ロボット関連ニュースや動画など日々更新!

会場配布

2017年

11月29日(木) - 12月2日(日)

10:00 - 17:00

東京ビッグサイト 東ホール

INDEX

- ① 日本ロボット工業会会員まつり、国際ロボット展みどころ
- ② ロボットビジョン・技術の研究動向
- ③ 有力企業の製品・技術
- ④ ロボット商アブテュレーターの実態と最新研究紹介
- ⑤ 有力企業の製品・技術
- ⑥ 今後のAI・ロボットの発展
- ⑦ 有力企業の製品・技術
- ⑧ 最新事業情報
- ⑨ 会場MAP

11月28日付 第2部 2017国際ロボット展特集 1面

第3種郵便物認可 (第2部)
日刊工業新聞
2017年(平成29年) 11月28日・火曜日
O2

人と共に働き、共存する新社会へ



前回は国内外から12万人を超える来場者が集まった



産業用ロボット、サービスロボットなど最先端のロボットが展示される

見どころ

「産ロボ」活躍の場広がる

産業界で「産業用ロボット」の活用が加速している。製造業だけでなく、サービス業や医療分野でも、人と協働するロボットが活躍の場を広げている。...



日本ロボット工業会会長

稲葉 善治

最新情報を世界に発信

「2017国際ロボット展」は、世界最大規模のロボット専門展として、国内外から多くの来場者を集めた。今回は、最新の技術や製品を展示するだけでなく、人とロボットが共存する社会の実現に向けた取り組みも紹介する。...

11月28日付 第2部 2017国際ロボット展特集 2面

2017 iREX Daily Nov.29th, 2017

2017国際ロボット展

iREX Daily DAY 1 11/29th November 29th

Connected Smart Robotics

東2 NACHI

AI・IoTで労働人口減少に対応——世界の工場で需要拡大 産業用ロボット

2017年10月、世界の工場はAIとIoTの導入で生産性を向上させている。AIとIoTの導入は、労働人口の減少に対応し、世界の工場での需要を拡大している。産業用ロボットは、AIとIoTの導入によって、生産性を向上させ、労働人口の減少に対応している。世界の工場では、AIとIoTの導入によって、生産性を向上させ、労働人口の減少に対応している。産業用ロボットは、AIとIoTの導入によって、生産性を向上させ、労働人口の減少に対応している。




ロボットで働く未来がある。

50%

産業用ロボット

2017 iREX Daily Nov.30th, 2017

2017国際ロボット展

iREX Daily DAY 2 11/30th November 30th

Connected Smart Robotics

東2 NACHI

石黒浩氏に聞く——AI・IoT時代の未来 産業用ロボットの未来

石黒浩氏に聞く——AI・IoT時代の未来 産業用ロボットの未来。石黒浩氏は、AIとIoTの導入によって、産業用ロボットの未来を語る。石黒浩氏は、AIとIoTの導入によって、産業用ロボットの未来を語る。石黒浩氏は、AIとIoTの導入によって、産業用ロボットの未来を語る。石黒浩氏は、AIとIoTの導入によって、産業用ロボットの未来を語る。



対話ができなければパートナーになれない

石黒浩氏に聞く——AI・IoT時代の未来 産業用ロボットの未来。石黒浩氏は、AIとIoTの導入によって、産業用ロボットの未来を語る。石黒浩氏は、AIとIoTの導入によって、産業用ロボットの未来を語る。石黒浩氏は、AIとIoTの導入によって、産業用ロボットの未来を語る。石黒浩氏は、AIとIoTの導入によって、産業用ロボットの未来を語る。



ロボットで働く未来がある。

50%

産業用ロボット

2017 iREX Daily Dec.1st, 2017

2017国際ロボット展

iREX Daily DAY 3 12/1st December 1st

Connected Smart Robotics

東2 NACHI

最先端ロボット技術の競演——注目プロダクト スームアップ!

最先端ロボット技術の競演——注目プロダクト スームアップ!。最先端ロボット技術の競演——注目プロダクト スームアップ!。最先端ロボット技術の競演——注目プロダクト スームアップ!。最先端ロボット技術の競演——注目プロダクト スームアップ!



単輪型と双輪型がハーモニー

自動車を軽々と持ち上げる

自動車を軽々と持ち上げる

自動車を軽々と持ち上げる



ロボットで働く未来がある。

50%

産業用ロボット

2017 iREX Daily Dec.2nd, 2017

2017国際ロボット展

iREX Daily DAY 4 12/2nd December 2nd

Connected Smart Robotics

東2 NACHI

高橋智隆氏に聞く——コミュニケーションロボットの成功の秘訣

高橋智隆氏に聞く——コミュニケーションロボットの成功の秘訣。高橋智隆氏は、コミュニケーションロボットの成功の秘訣を語る。高橋智隆氏は、コミュニケーションロボットの成功の秘訣を語る。高橋智隆氏は、コミュニケーションロボットの成功の秘訣を語る。高橋智隆氏は、コミュニケーションロボットの成功の秘訣を語る。



コミュニケーションロボットがスマホの次を担う可能性

コミュニケーションロボットがスマホの次を担う可能性。コミュニケーションロボットがスマホの次を担う可能性。コミュニケーションロボットがスマホの次を担う可能性。コミュニケーションロボットがスマホの次を担う可能性。



ロボットで働く未来がある。

50%

産業用ロボット

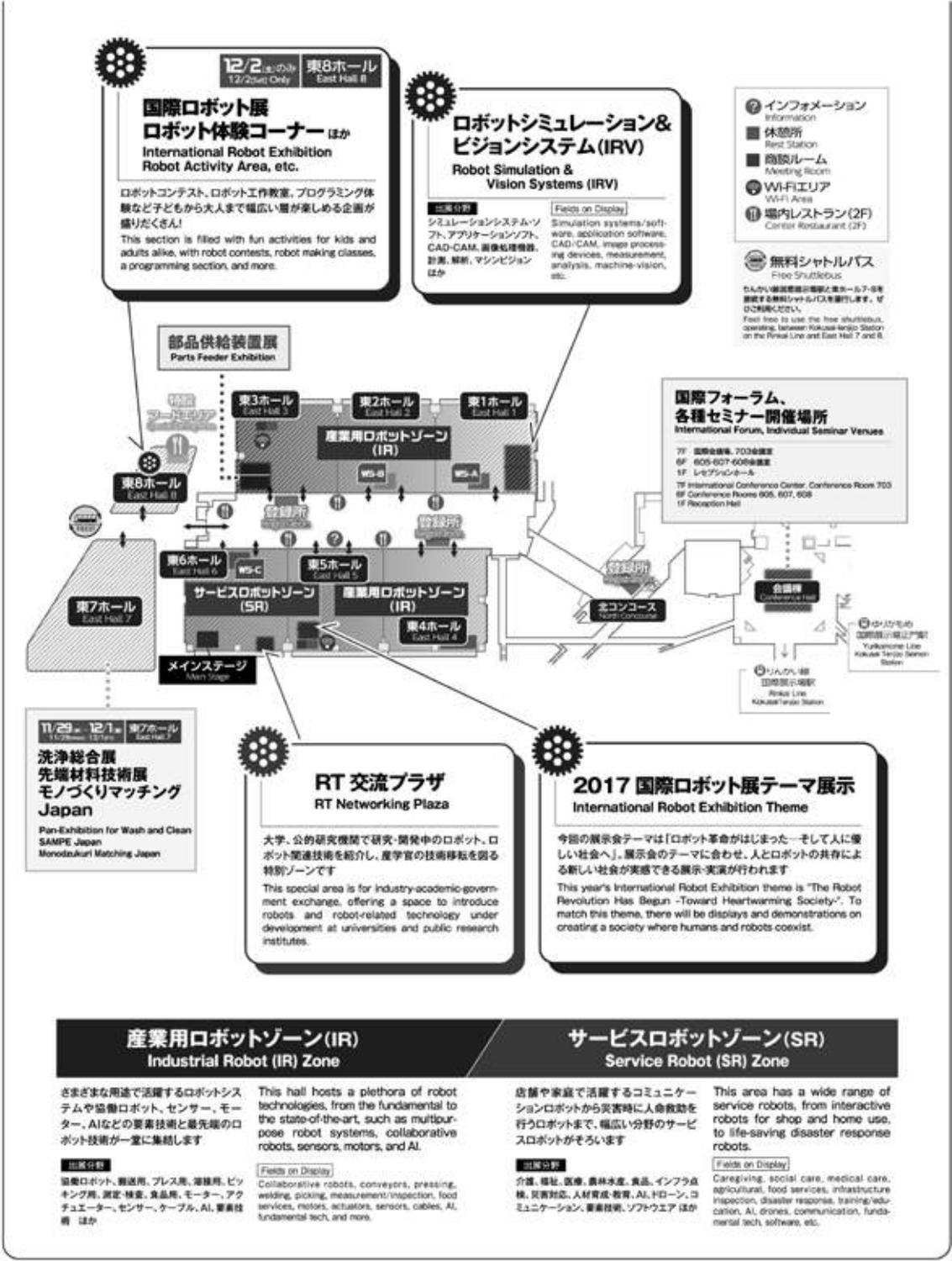
2017国際ロボット展

INTERNATIONAL ROBOT EXHIBITION 2017

会場案内図



Event Map & Guide



12/2 (土のみ) 東8ホール
12/2(Sat Only) East Hall 8

国際ロボット展
ロボット体験コーナー ほか
International Robot Exhibition
Robot Activity Area, etc.

ロボットコンテスト、ロボット工作教室、プログラミング体験など子どもから大人まで幅広い層が楽しめる企画が盛りだくさん!
This section is filled with fun activities for kids and adults alike, with robot contests, robot making classes, a programming section, and more.

ロボットシミュレーション&ビジョンシステム(IRV)
Robot Simulation & Vision Systems (IRV)

出展分野 シミュレーションシステム/ソフト、アプリケーションソフト、CAD/CAM、画像処理機器、計測、解析、マシンビジョン ほか
Fields on Display Simulation systems/software, application software, CAD/CAM, image processing devices, measurement, analysis, machine-vision, etc.

- ① インフォメーション
Information
- ② 休憩所
Rest Station
- ③ 商談ルーム
Meeting Room
- ④ Wi-Fiエリア
Wi-Fi Area
- ⑤ 場内レストラン(2F)
Center Restaurant (2F)

無料シャトルバス
Free Shuttle Bus

丸の内線国分寺駅と東有明7-8番線駅を結ぶ無料シャトルバスを運行します。ぜひご利用ください。
Fast free to use the free shuttlebus, operating between Kokufunago Station on the Final Line and East Hall 7 and 8.

国際フォーラム、各種セミナー開催場所
International Forum, Individual Seminar Venues

7F 国際会議場、703会議室
6F 605-607-608会議室
1F レセプションセンター
7F International Conference Center, Conference Room 703
6F Conference Rooms 605, 607, 608
1F Reception Hall

11/29・12/1 東7ホール
11/29(Sun)・12/1(Tue) East Hall 7

洗浄総合展
先端材料技術展
モノづくりマッチング
Japan

Pan-Exhibition for Wash and Clean
SAMPE Japan
Monodzukuri Matching Japan

RT 交流プラザ
RT Networking Plaza

大学、公的研究機関で研究・開発中のロボット、ロボット関連技術を紹介し、産学官の技術移転を図る特別ゾーンです
This special area is for industry-academic-government exchange, offering a space to introduce robots and robot-related technology under development at universities and public research institutes.

2017 国際ロボット展テーマ展示
International Robot Exhibition Theme

今回の展示会テーマは「ロボット革命がはじまったーそして人に優しい社会へ」。展示会のテーマに合わせ、人とロボットの共存による新しい社会が実感できる展示・実演が行われます
This year's International Robot Exhibition theme is "The Robot Revolution Has Begun -Toward Heartwarming Society-". To match this theme, there will be displays and demonstrations on creating a society where humans and robots coexist.

産業用ロボットゾーン(IR)
Industrial Robot (IR) Zone

さまざまな用途で活躍するロボットシステムや協働ロボット、センサー、モーター、AIなどの要素技術と最先端のロボット技術が一室に集結します
This hall hosts a plethora of robot technologies, from the fundamental to the state-of-the-art, such as multipurpose robot systems, collaborative robots, sensors, motors, and AI.

出展分野 協働ロボット、搬送用、プレス系、溶接用、ピッキング用、測定・検査、食品用、モーター、アクチュエーター、センサー、ケーブル、AI、要素技術 ほか
Fields on Display Collaborative robots, conveyors, pressing, welding, picking, measurement/inspection, food services, motors, actuators, sensors, cables, AI, fundamental tech, and more.

サービスロボットゾーン(SR)
Service Robot (SR) Zone

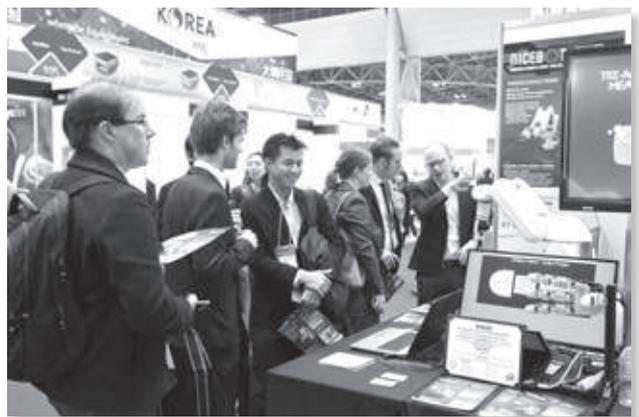
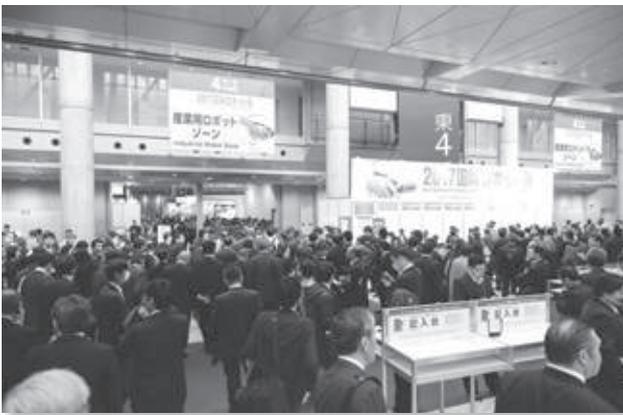
店舗や家庭で活躍するコミュニケーションロボットから災害時に人命救助を行うロボットまで、幅広い分野のサービスロボットがそろいます
This area has a wide range of service robots, from interactive robots for shop and home use, to life-saving disaster response robots.

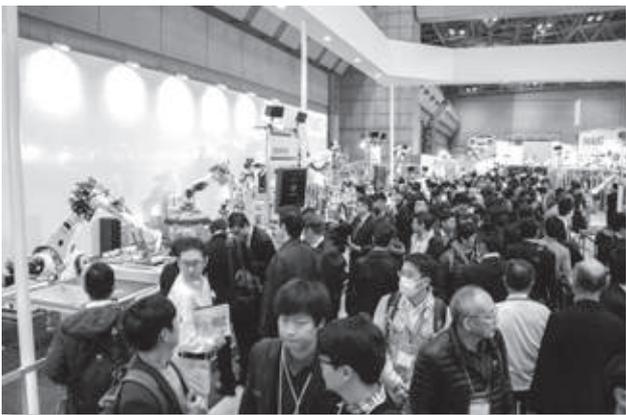
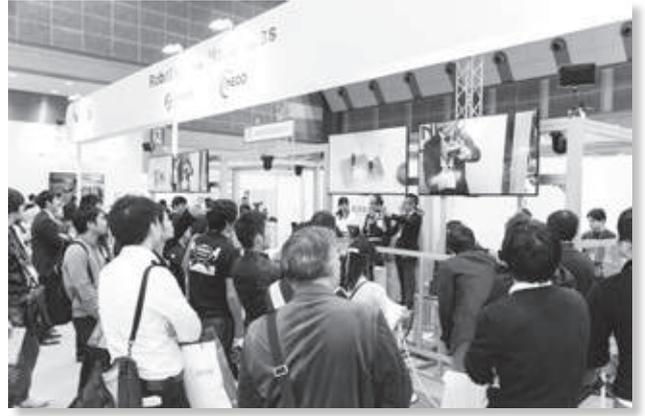
出展分野 ケアリング、福祉、医療、農林水産、食品、インフラ点検、災害対応、人材育成・教育、AI、ドローン、コミュニケーション、要素技術、ソフトウェア ほか
Fields on Display Caregiving, social care, medical care, agricultural, food services, infrastructure inspection, disaster response, training/education, AI, drones, communication, fundamental tech, software, etc.

公式Webサイト



会場風景





次回開催 2019 国際ロボット展

■会 期：2019年 12月 予定

■会 場：東京ビッグサイト

結果報告書ならびに次回開催等のお問い合わせは下記へ

 **日刊工業新聞社**
業務局イベント事業部

〒103-8548 東京都中央区日本橋小網町 14-1
TEL.03-5644-7221 FAX.03-5641-8321
URL <http://biz.nikkan.co.jp/eve/irex/>